

平成29年度
学校要覧

National Institute of Technology, Toyama College

教育理念

創 意 ・ 創 造
自 主 ・ 自 律
共 存 ・ 共 生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的
社会といったメッセージがこめられています。組み
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝
池辺晋一郎
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手をと

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春をともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代とともに支えて



本郷キャンパス



射水キャンパス

目 次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	6
3 学科紹介	8
4 専攻科紹介	23
5 教員名簿	26
6 製品開発・社会貢献本部	32
7 主要施設	34
8 学生生活	36
9 地域社会との連携	40
10 研究活動	42
11 国際交流活動	43
12 財務状況	45
13 在学状況	47
14 進路状況	48

1 学校紹介

■ 校長あいさつ



校長 たか まさ とも し
賞 雅 寛 而

平素より富山高等専門学校のステークホルダーの皆様、すなわちご父母、同窓会そして富山県の各組織各企業の皆様には、本校の教育・研究に対し多大なご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

我が国は世界に冠たる科学技術立国であり、四面を海に囲まれた海洋国家です。また富山県は歴史的に、北海道から長崎・琉球にわたる北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・科学産業そして黒部ダムのエネルギー利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。この科学技術・海洋の分野で「イノベーションを創出できる人材、グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは、我が国そして富山県の将来を導くための重要な課題となっています。

高等専門学校（高専）は、入学の16歳から本科卒業の20歳まで、あるいは専攻科修了の22歳までという高校・大学とは異なるスパンの教育を行いますが、長い人生の中で最も人間として成長するこの時期の若者に、基礎から応用に多くのステップを持つ理工系もしくは高度な専門教育を一貫して行うことは、我が国の科学技術・海洋分野の人材養成に非常に重要です。富山高等専門学校は、本科に機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科という幅広い教育分野の6学科を有する全国唯一の高専であり、本科に引き続く2年間の専攻科では、教育・研究の高度化のための7年一貫の教育を行っています。本科の卒業生の約半数が企業へ就職し、約半数が国立大学3年次への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学しています。最近における本校卒業生、修了生の就職・進学実績は、他の高専だけでなく近隣の教育機関を大きく引き離しており、したがって本校は、国内57の高専のトップ校として、我が国及び世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする有数の高等教育機関となっています。

富山高等専門学校はよりその特質を生かして、学生の挑戦とコミュニケーションネットワーク形成をしっかりサポートし、学生が社会に飛び立てるもしくは次のステップに進める姿にする教育、関連の研究また社会貢献を一層充実すべく、教職員一同心に命じておりますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻をよろしく賜りますようお願いいたします。

■本校の教育目標

1「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■準学士課程(本科)アドミッションポリシー(求める学生像および入学者選抜の基本方針)

本校では、環日本海地域を中心とした地球的な視点に立ち、充実した教養教育や実践的な専門教育により、学生一人ひとりの個性を尊重し、専門知識・技術を身につけ、その能力を育成することを目指しています。

このような方針に基づき、各学科では人・社会・自然・環境に思いやりのある、次のような学生を求めます。

機械システム工学科

求める学生像

- 1 機械・構造物、機械システムに興味がある人
- 2 想像力豊かな機械技術者になりたい人
- 3 エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

電子情報工学科

求める学生像

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

電気制御システム工学科

求める学生像

- 1 電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人
- 2 ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

国際ビジネス学科

求める学生像

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身につけたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

物質化学工学科

求める学生像

- 1 化学の世界に興味を持っている人
- 2 地球と人にやさしいものづくりをしたい人
- 3 持続的社会的構築に貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

商船学科

求める学生像

- 1 海や自然が好きの人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とします。

専攻科アドミッションポリシー

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めています。

求める学生像（専攻科共通）

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

選抜の基本方針

推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜

推薦による選抜：

推薦書、調査書および面接検査（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。

学力検査による選抜：

エコデザイン工学専攻・制御情報システム工学専攻・海事システム工学専攻

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、数学、専門科目）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。

国際ビジネス学専攻

入学者の選抜は、学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、専門科目）と調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。

社会人特別選抜：

学力検査（英語（TOEICスコアによる換算）、専門科目）、調査書及び面接検査（専門科目に関する口頭試問含む）の結果を総合して判定を行います。面接においては、受験者が専攻科入学後に行いたい研究、もしくはそれに関連する実務経験について、パワーポイント等を用いて5分程度のプレゼンテーションを行い、その発表内容に関連した事項についての口頭試問を課します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

専門技術と知識を体系的に修得するため、各専攻希望の学生は、原則として次の学科を卒業又は卒業見込みの者、又は同等の内容のカリキュラムを実施している学科で学修した者とします。

- ・エコデザイン工学専攻：機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科
- ・制御情報システム工学専攻：電子情報工学科
- ・国際ビジネス学専攻：国際ビジネス学科
- ・海事システム工学専攻：商船学科

高専本科で開講されている一般教養科目および専門科目ともに重要ですので、同等の基礎学力をきちんと習得してください。特に、学力検査で課している科目においては、入学後の各専攻における講義・演習・実験および研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけてください。

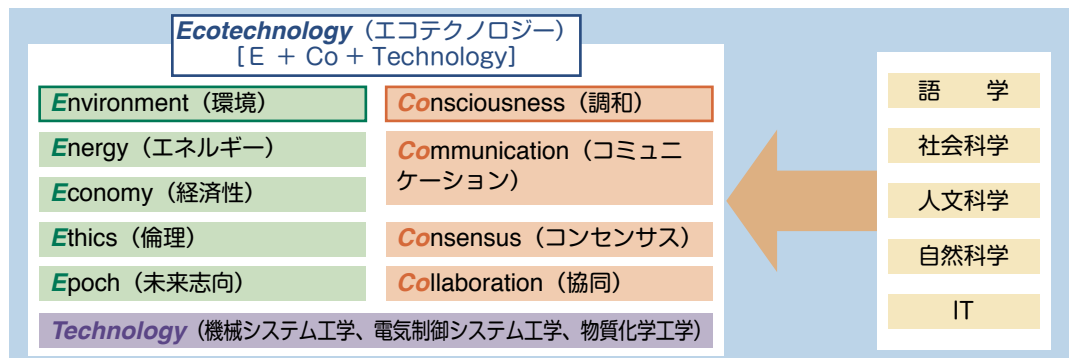
J A B E E 対応教育プログラム

本校専攻科の「エコデザイン工学専攻」及び「制御情報システム工学専攻」では、日本技術者教育認定機構（JABEE）が認める以下の技術者教育プログラムを設定しています。

それぞれの専攻に入学した学生は各教育プログラムの履修者となり、本科および専攻科の指定された科目を修得することでJABEE修了要件を満たせば、技術士補の申請資格を得ることができます。各プログラムの内容及び学位取得を含む修了要件等、詳しくはそれぞれのキャンパスのホームページでも紹介しています。

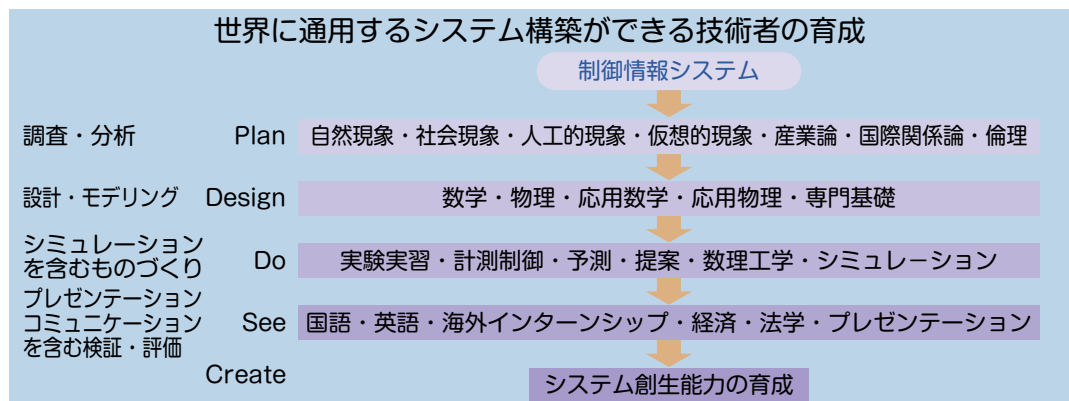
エコデザイン工学プログラム

エコデザイン工学専攻では、本郷キャンパス機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科3学科の4、5年と専攻科エコデザイン工学専攻を複合した「エコデザイン工学」教育プログラムを設定しています。



制御情報システム工学プログラム

制御情報システム工学専攻では、射水キャンパス電子情報工学科4、5年生からの一貫した「制御情報システム工学」教育プログラムを設定しています。



■教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学評価・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書(評価結果)及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

2 大学評価・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は6学科に対応する4専攻(エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻)からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは、5年間に一度、大学評価・学位授与機構による審査を受けることになっており、本校専攻科は、統合した平成21年度に審査を受け、認定されました。

エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻の4専攻が大学評価・学位授与機構から学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、及び海事システム工学専攻は、平成26年度入学生から、国際ビジネス学専攻は、平成27年度入学生から、当該専攻の最終学年に在学し、当該学年末に修了の見込み者が行う学士の学位の授与申請については、学修成果に関する試験が免除され、提出書類が簡略化されています。

※特例の適用認定とは、「短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に関する規則」第2条の規定に基づき認定された専攻科（「認定専攻科」という。）のうち、「学位規則第6条1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例に関する規則」に定める要件を満たせば、学士の学位の授与に係る特例の適用認定を受けた専攻科（「特例適用専攻科」という。）になることです。

3 日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査

準学士課程4、5年と専攻科を合わせた教育プログラムの、日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定審査について、平成16年度に機械工学科、電気工学科、物質工学科、環境材料工学科及び専攻科で「エコデザイン工学プログラム」について認定を受け、平成21年度の継続審査で再認定を受けています。また、平成27年度には、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科及び専攻科の構成で同専攻として再認定を受けています。

また、平成20年度に電子制御工学科、情報工学科及び専攻科で「制御情報システム工学プログラム」について認定を受け、平成26年度に電子情報工学科及び専攻科の継続審査で再認定を受けています。

4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは卒業時の海技士資格(国際標準)取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。富山高等専門学校の商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

■ 本校の沿革

旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

旧 富山商船高等専門学校

- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙行
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

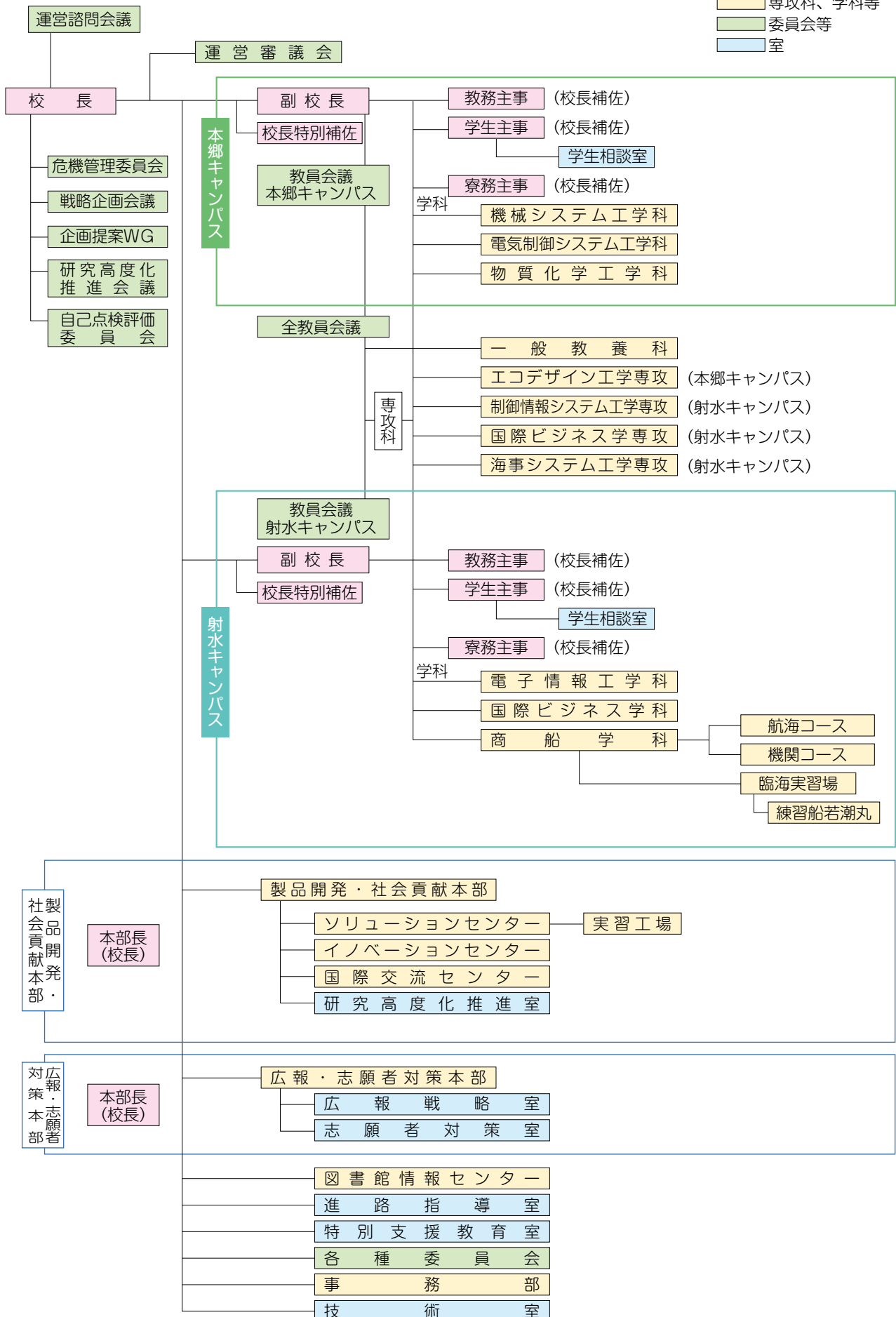
富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入
- 平成27年 3月 第1回卒業式、修了式挙行
- 平成27年10月 創立50周年・創基110周年記念式典を挙行
- 平成29年 3月 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

2 組織

組織図

- 役職等
- 専攻科、学科等
- 委員会等
- 室



■ 役職者名簿

校長	賞雅 寛而
副校長（本郷）	寺西 恒宣
副校長（射水）	水谷淳之介
校長特別補佐	西田 均
校長特別補佐	新開 純子

■ 本郷キャンパス

教務主事（校長補佐）	柴田 博司
学生主事（校長補佐）	川淵 浩之
寮務主事（校長補佐）	櫻井 豊
機械システム工学科長	岡根 正樹
電気制御システム工学科長	西 敏行
物質化学工学科長	高廣 政彦

■ 射水キャンパス

教務主事（校長補佐）	塚田 章
学生主事（校長補佐）	水本 巖
寮務主事（校長補佐）	柁 伸司
電子情報工学科長	小熊 博
国際ビジネス学科長	西原 雅博
商船学科長	山本桂一郎
航海コース主任	笹谷 敬二
機関コース主任	山本桂一郎
臨海実習場長	笹谷 敬二
練習船若潮丸船長	中松 英也

■ 専攻科

専攻科長（校長補佐）	高田 英治
副専攻科長（本郷キャンパス）	高田 英治
副専攻科長（射水キャンパス）	阿蘇 司

■ 一般教養科

一般教養科長	河合 均
本郷キャンパス主任	高熊 哲也
射水キャンパス主任	河合 均

■ 製品開発・社会貢献本部

製品開発・社会貢献本部長	賞雅 寛而
ソリューションセンター長	西田 均
イノベーションセンター長	袋布 昌幹
国際交流センター長	保前 友高
研究高度化推進室長	西田 均

■ 広報・志願者対策本部

広報・志願者対策本部長	賞雅 寛而
広報戦略室長	青山 晶子
志願者対策室長	河合 孝恵

■ 図書館情報センター

図書館情報センター長	新開 純子
------------	-------

■ 進路指導室

進路指導室長（本郷キャンパス）	柴田 博司
進路指導室長（射水キャンパス）	塚田 章

■ 学生相談室

学生相談室長（本郷キャンパス）	高橋 勝彦
学生相談室長（射水キャンパス）	早勢 欣和

■ 特別支援教育室

特別支援教育室長	寺西 恒宣
----------	-------

■ 事務局

事務部長	渡邊 悟司
総務課長	小林 正幸
管理課長	村道 俊一
学務課長	戸田 克己
学生課長	笹岡 博史

■ 技術室

技術室長	水谷淳之介
------	-------

■ 教職員の現員

平成29年5月1日

■ 教職員等数

教	校 長	1
	教 授	51
	准 教 授	49
	講 師	7
	助 教	16
	助 手	1
員	小 計	125
	事 務 職 員	63
	技 術 職 員	25
員	小 計	88
	合 計	213
特 命 フ ェ ロ ー		7

■ 所属別教員数

学	機械システム工学科	14
	電気制御システム工学科	16
	物質化学工学科	15
	電子情報工学科	14
	国際ビジネス学科	12
	商 船 学 科	15
	一般教養科（本郷）	14
	一般教養科（射水）	15
	センター専任	5
	練習船若潮丸	4
合 計	124	
特 命 フ ェ ロ ー		7

3 学科紹介

■ 機械システム工学科

「機械」で未来を動かそう！

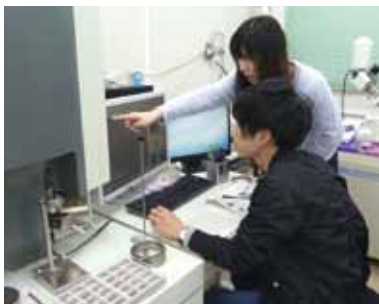
世の中にまだ無いものを作ることに興味はありませんか？

人の役に立つものを作ることに興味はありませんか？

製作することが困難であればあるほど、できた時の達成感は大きくなります。

一緒に「機械の英知」で未来を動かしてみませんか。

そのような学生を私たちは待っています。



機械システム工学科

教育目標

ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機器設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。

機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。

機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	工業力学Ⅰ	1		1				
	工作実習Ⅰ	1		1				
	基礎工学実験Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	工作実習Ⅱ	2			2			
	基礎工学実験Ⅱ	2			2			
	流体工学Ⅰ	1				1		
	基礎研究Ⅰ	1				1		
	システム工学実験Ⅰ	1				1		
システム工学実験Ⅱ	1				1			
安全工学	1					1		
システム工学実験Ⅲ	1					1		
卒業研究	12					12		
計	33	5	3	7	4	14		
選択科目	工業力学Ⅱ	1		1				
	工業力学演習	1		1				
	機械製図	2		2				
	実践ものづくり工学	1		1				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	エネルギー機械	1			1			
	応用物理Ⅰ	2			2			
	基礎材料工学Ⅱ	1			1			
	材料力学Ⅱ	1			1			
	製造と加工Ⅰ	1			1			
	機械工学	1			1			
	設計製図	1			1			
	情報処理Ⅱ	1			1			
	熱力学Ⅱ	2				2		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	電気・電子回路	1				1		
	機械計測工学	1				1		
	材料力学Ⅲ	1				1		
	システム設計Ⅰ	1				1		
	実用技術英語Ⅰ	1				1		
	製造と加工Ⅱ	1				1		
	鉄鋼材料	1				1		
	材料分析工学	1				1		
	流体工学Ⅱ	1				1		
	非鉄金属材料	1				1		
	機械力学	1				1		
	プログラミング基礎	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	材料プロセス	1				1		
	伝熱工学	1				1		
	反応熱力学	2				2		
	要素設計	1				1		
インターンシップ	2				2			
制御工学Ⅰ	1					1		
材料物性Ⅰ	1					1		
実用技術英語Ⅱ	1					1		
環境強度Ⅰ	1					1		
シミュレーション工学	1					1		
生産・品質管理	1					1		
応用数学Ⅳ	1					1		
振動工学	2					2		
材料物性Ⅱ	2					2		
環境強度Ⅱ	1					1		
有機材料	1					1		
流体機械	1					1		
熱機関	1					1		
制御工学Ⅱ	1					1		
強度設計	1					1		
製造と加工Ⅲ	1					1		
応用プログラミング	1					1		
材料強度学	1					1		
機械システム工学特論	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

電気工学と機械工学の融合 夢のようなテクノロジーを実現できるエンジニアへ

電気、機械、情報の3分野をバランスよく学び、
実験・実習を通して、
それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた
実践的な技術者を育成します。
卒業後は、電気技術者、機械技術者、または、それらを融合した
ロボットなどを開発する技術者など、幅広い進路の選択が可能です。



電気制御システム工学科 教育目標

電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。

電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気工学	2		2				
	情報処理	2		2				
	設計製図Ⅰ	2		2				
	ものづくり工学	1		1				
	基礎工学実験	2		2				
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	基礎研究	1				1		
システム工学実験Ⅲ	1					1		
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	2	3	13		
選択科目	応用物理Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気回路Ⅰ	2			2			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	コンピュータサイエンス	2			2			
	設計製図Ⅱ	2			2			
	工業力学	2			2			
	メカトロ基礎工学	2			2			
	計測工学Ⅰ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	工業英語Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気磁気学Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅱ	2				2		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気機械Ⅰ	2				2		
	電子回路Ⅱ	1				1		
	電子回路Ⅲ	1				1		
	計算機システムⅠ	1				1		
	計算機システムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	流体力学Ⅰ	1				1		
	熱力学Ⅰ	1				1		
	機械工作法	1				1		
	材料力学Ⅰ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	メカトロ創造設計	2				2		
	インターンシップ	2				2		
応用数学Ⅳ	1					1		
工業英語Ⅱ	1					1		
電気材料	2					2		
電気機械Ⅱ	2					2		
パワーエレクトロニクス	1					1		
電子工学Ⅰ	1					1		
電子工学Ⅱ	1					1		
通信工学	2					2		
計測工学Ⅱ	1					1		
制御工学Ⅲ	1					1		
シミュレーション工学	2					2		
システム工学	1					1		
ロボット工学Ⅰ	1					1		
ロボット工学Ⅱ	1					1		
機械力学Ⅰ	2					2		
機械力学Ⅱ	2					2		
流体力学Ⅱ	1					1		
熱力学Ⅱ	1					1		
CAD/CAM工学	2					2		
材料学	2					2		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

■物質化学工学科

化学のおもしろさと出会いながら 実験を通して確かな技術と知識を

化学・生物化学を中心とした学科です。

有機化学・無機化学・生物化学を代表とする中心的基礎科目は講義と実験の二本立ての授業を行うことにより確かな知識と基礎的技術が修得できます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等に関する最先端の知識と技術を修得することにより、化学・医薬品工業分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



物質化学工学科

教育目標

化学・生物化学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。

環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。

地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社會構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	物質化学基礎実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	物理化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
基礎研究	1				1			
卒業研究	12					12		
計	32	5	3	7	5	12		
選択科目	有機化学Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅱ	1		1				
	無機化学Ⅰ	2		2				
	分析化学Ⅰ	1		1				
	生物化学	1		1				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅲ	1			1			
	分析化学Ⅱ	1			1			
	基礎化学工学	2			2			
	基礎生物化学	2			2			
	無機化学Ⅱ	1			1			
	無機化学Ⅲ	1			1			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	情報処理Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	有機化学Ⅳ	1				1		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	1				1		
	化学工学Ⅰ	1				1		
	化学工学Ⅱ	1				1		
	生物化学Ⅰ	1				1		
	生物化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅱ	1				1		
物理化学Ⅲ	1				1			
材料工学Ⅰ	1				1			
機器分析Ⅰ	1				1			
機器分析実験	2				2			
化学英語	2				2			
高分子化学Ⅰ	1				1			
分子生物学	1				1			
遺伝子工学	1				1			
インターンシップ	2				2			
反応工学	1					1		
先端化学Ⅰ	2					2		
先端化学Ⅱ	2					2		
材料工学Ⅱ	1					1		
応用物理Ⅲ	1					1		
応用物理Ⅳ	1					1		
有機工業化学	2					2		
無機工業化学	2					2		
高分子化学Ⅱ	1					1		
化学工学Ⅲ	1					1		
応用微生物学	1					1		
薬理学	1					1		
機器分析特論	1					1		
工コマテリアル	1					1		
機器分析Ⅱ	1					1		
C A D	1					1		
品質管理	1					1		
安全工学	1					1		
環境科学	1					1		
生体触媒工学	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、
「自ら考えてものをつくる」ための
総合的な専門知識技能を身につけます。
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



電子情報工学科 ■ 教育目標

システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学実験	3	3					
	技術者倫理入門	1	1					
	情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	計算機システム	1		1				
	論理回路	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	工学演習Ⅰ	1		1				
	電子情報工学実験Ⅰ	2		2				
	電子情報工学実験Ⅱ	3			3			
電子情報工学実験Ⅲ	3				3			
卒業研究	12					12		
計	32	5	9	3	3	12		
選択科目	応用物理Ⅰ	1			1			
	応用物理Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	計算機構成論Ⅰ	1			1			
	計算機構成論Ⅱ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	情報数学Ⅰ	1			1			
	工学演習Ⅱ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	応用物理Ⅳ	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電子デバイス	1				1		
	電子システムⅠ	1				1		
	電子システムⅡ	1				1		
	電子通信工学Ⅰ	1				1		
	電子通信工学Ⅱ	1				1		
	通信システムⅠ	1				1		
	通信システムⅡ	1				1		
	オペレーティングシステムⅠ	1				1		
	オペレーティングシステムⅡ	1				1		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1				1		
	数値計算	1				1		
	情報数学Ⅱ	1				1		
創造工学設計Ⅰ	2				2			
創造工学設計Ⅱ	2				2			
インターシップ	2				2			
応用数学Ⅲ	2					2		
応用数学Ⅳ	2					2		
技術英語	1					1		
センサ工学	1					1		
デジタル信号処理Ⅰ	1					1		
デジタル信号処理Ⅱ	1					1		
電子回路Ⅲ	1					1		
電子回路Ⅳ	1					1		
コンピュータ計測Ⅰ	1					1		
コンピュータ計測Ⅱ	1					1		
電波工学	1					1		
応用電磁システム	1					1		
情報ネットワークⅠ	1					1		
情報ネットワークⅡ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅰ	1					1		
ソフトウェア工学Ⅱ	1					1		
メディア工学Ⅰ	1					1		
メディア工学Ⅱ	1					1		
計算工学Ⅰ	1					1		
計算工学Ⅱ	1					1		
情報理論	1					1		
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

■国際ビジネス学科

富山から環日本海へ、そして世界へ 外国語とビジネスの知識を駆使するグローバルな 人間を育てる

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語と環日本海諸国語の2つの“使える外国語能力”、及び、異文化理解力を身につけ、ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を統合して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、国際的に活躍し、地域社会や地域産業にも貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身につけ、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力と異文化理解力を身につけたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	商学概論 I	1	1					
	商学概論 II	1	1					
	情報概論 I	1	1					
	情報基礎	1	1					
	情報基礎演習 I	1	1					
	物流概論 I	1		1				
	物流概論 II	1		1				
	会計学概論 I	1		1				
	会計学概論 II	1		1				
	経済学概論 I	1		1				
	経済学概論 II	1		1				
	英語演習 I	1			1			
	英語演習 II	1			1			
	法学概論 I	1			1			
	法学概論 II	1			1			
	経営学概論 I	1			1			
	経営学概論 II	1			1			
	環日本海社会経済史 I	1			1			
	環日本海社会経済史 II	1			1			
	ビジネスゼミナール I	1				1		
ビジネスゼミナール II	1				1			
卒業研究	12						12	
	33	5	4	10	2	12		
選択科目	情報基礎 III	1		1				
	情報基礎 IV	1		1				
	情報基礎演習 II	1		1				
	物流管理論 I	1			1			
	物流管理論 II	1			1			
	財務会計論 I	1			1			
	財務会計論 II	1			1			
	工業会計論 I	1			1			
	工業会計論 II	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)	1			1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)	1			1			
	マーケティング論 I	1				1		
	マーケティング論 II	1				1		
	国際物流論 I	1				1		
	国際物流論 II	1				1		
	管理会計論 I	1				1		
	管理会計論 II	1				1		
	民法 I	1				1		
	民法 II	1				1		
	経営戦略論 I	1				1		
	経営戦略論 II	1				1		
	経営情報 I	1				1		
	経営情報 II	1				1		
	環日本海社会経済史 III	1				1		
	環日本海社会経済史 IV	1				1		
	ビジネス英語	2				2		
	時事英語講読	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (中国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (韓国語)	2				2		
	環日本海諸国語演習 III (ロシア語)	2				2		
	環日本海諸国語表現 I (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 I (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語表現 II (ロシア語)	1				1		
環日本海諸国語表現 III (中国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (韓国語)	2				2			
環日本海諸国語表現 III (ロシア語)	2				2			
金融・保険論 I	1				1			
金融・保険論 II	1				1			
インターシップ	2				2			
国際ビジネス論 I	1					1		
国際ビジネス論 II	1					1		
マーケティング戦略論	2					2		
原価企画論 I	1					1		
原価企画論 II	1					1		
ビジネス英語演習 I	1					1		
ビジネス英語演習 II	1					1		
異文化コミュニケーション論	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (中国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (韓国語)	2					2		
時事環日本海諸国語 (ロシア語)	2					2		
雇用関係法 I	1					1		
雇用関係法 II	1					1		
経営管理論 I	1					1		
経営管理論 II	1					1		
経営科学 I	1					1		
経営科学 II	1					1		
国際関係概論 I	1					1		
国際関係概論 II	1					1		
英語圏異文化実習	4				4			
環日本海諸国異文化実習	4				4			
英語プレゼン	2					2		
修得すべき単位数	82単位以上							

サービスエリアは地球 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト

「航海コース」と「機関コース」との2つからなる複合学科です。

2年生から選択したコースに分かれます。

海と船で使われる様々なテクノロジーを学び、

世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。

最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、

即戦力を身につけます。

大きな船で航海に出る延べ1年間の乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、

卒業は6年生の9月になります。



商船学科 教育目標

船舶のスペシャリストとして必要な専門知識を身につけます。

船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築ができるように実験や実習を通して専門的な能力を育成します。

船舶システムを良好に運用するのに必要なマナーとシーマンシップを実習や舩によって習得します。

専門的な応用力が開発できるよう、知識、技術、管理能力の基礎を育成します。

■一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum 工学系4学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎数学 A I	2	2					
	基礎数学 A II	2	2					
	基礎数学 B I	1	1					
	基礎数学 B II	1	1					
	物理学 I (*)	[2]	[2]					
	化学 I (*)	(3)	(3)					
基礎科学実験 (**)	[1]		[1]					
計		9	[8](9)	[1]				
人文・社会	総合国語 IA	2	2					
	総合国語 IB	2	2					
	総合国語 II	2		2				
	総合国語 III	2			2			
	日本語表現現代	1				1		
	日本語と文化	1					1	
	歴史 I	2	2					
	歴史 II	2		2				
	歴史学 I	1				1		
	歴史学 II	1				1		
	倫理	2		2				
	哲学 I	1				1		
	哲学 II	1				1		
	政治・経済	2			2			
	経済学 I	1				1		
経済学 II	1				1			
法学	1					1		
選択	基礎数学 C	1	1					
	微分積分学 I	2		2				
	微分積分学 II	2		2				
	線形代数 I	1		1				
	線形代数 II	1		1				
	解析学 I	2			2			
	解析学 II	2			2			
	総合数学	1			1			
	確率と統計	1			1			
	数学の特講 I	1				1		
	数学の特講 II	1				1		
	物理学 I (*)	(2)	(2)					
	物理学 II	2		2				
	物理学 III	1			1			
	化学 I (*)	[2]	[2]					
化学 II	2		2					
科目	保健 I	1	1					
	保健 II	2	2					
	保健 III	2		2				
	保健 IV	1			2			
	保健 V	1				1		
	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
	総合英会話 I	3	3					
	総合英会話 II	3		3				
	総合英会話 III	3			3			
	総合英会話 IV	1				1		
	総合英会話 V	1				1		
	英語表現現代 I	2	2					
	英語表現現代 II	2		2				
英語表現現代 III	2			2				
外国語	英会話 I	1	1					
	英会話 II	1		1				
	英会話演習 I	1				1		
	英会話演習 II	1				1		
	英語演習 I	1				1		
	英語演習 II	1				1		
	英語演習 III	1					1	
	環日本海諸国語 I (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語 I (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語 I (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (中国語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (韓国語)	1				1		
	環日本海諸国語 II (ロシア語)	1				1		
	環日本海諸国語 III (中国語)	1					1	
	環日本海諸国語 III (韓国語)	1					1	
環日本海諸国語 III (ロシア語)	1					1		
その他	英語圏異文化実習	3				3		
	環日本海諸国異文化実習	3				3		
修得すべき単位数		75単位以上						

(*) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は、「物理学 I」が2単位必修、「化学 I」が2単位選択。物質化学工学科は、「化学 I」が3単位必修、「物理学 I」が2単位選択。

(**) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は「基礎科学実験」が1単位必修、物質化学工学科は「基礎科学実験」が開講されない。

Curriculum 国際ビジネス学科

科目区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	人文・社会	総 合 国 語 I A	2	2				
		総 合 国 語 I B	2	2				
		総 合 英 語 I	2	2				
		総 合 英 語 II	2		2			
	計	8	6	2				
人文・社会	総 合 国 語 II	2		2				
	総 合 国 語 III	2			2			
	国 語 表 現	1				1		
	日 本 語 と 文 化	1					1	
	歴 史 I	2	2					
	歴 史 II	2		2				
	歴 史 学 I	1				1		
	歴 史 学 II	1				1		
	地 理	2	2					
	倫 理	2		2				
	哲 学 I	1				1		
	哲 学 II	1				1		
	政 治 ・ 経 済	2			2			
経 済 学 I	1				1			
経 済 学 II	1				1			
法 学	1					1		
自然	数 学 I	2	2					
	数 学 II	2		2				
	数 学 III	2			2			
	理 科 I	2	2					
保・体	理 科 II	2		2				
	保 健	1	1					
	体 育 I	2	2					
	体 育 II	2		2				
	体 育 III	2			2			
芸術	体 育 IV	1				1		
	体 育 V	1					1	
	音 楽	1	1					
科目	美 術	1	1					
	書 道	1	1					
	総 合 英 語 III	2			2			
	総 合 英 語 IV	1				1		
	総 合 英 語 V	1				1		
	総 合 英 語 VI	1					1	
	総 合 英 語 VII	1					1	
	英 語 表 現 I	2	2					
	英 語 表 現 II	2		2				
	英 会 話 I A	2	2					
	英 会 話 I B	2	2					
	英 会 話 II A	2		2				
	英 会 話 II B	2		2				
	英 会 話 III	2			2			
	英 会 話 IV	1				1		
	英 会 話 V	1				1		
	教 養 基 礎	1				1		
	外国語	環 日本海諸国語 I (中国語)	2	2				
		環 日本海諸国語 I (韓国語)	2	2				
環 日本海諸国語 I (ロシア語)		2	2					
環 日本海諸国語 II (中国語)		2	2					
環 日本海諸国語 II (韓国語)		2	2					
環 日本海諸国語 II (ロシア語)		2	2					
環 日本海諸国語 III (中国語)		2		2				
環 日本海諸国語 III (韓国語)		2		2				
環 日本海諸国語 III (ロシア語)		2		2				
環 日本海諸国語 IV (中国語)		2		2				
環 日本海諸国語 IV (韓国語)		2		2				
環 日本海諸国語 IV (ロシア語)		2		2				
環 日本海諸国語 V (中国語)		2			2			
環 日本海諸国語 V (韓国語)		2			2			
環 日本海諸国語 V (ロシア語)		2			2			
環 日本海諸国語 VI (中国語)		2			2			
環 日本海諸国語 VI (韓国語)		2			2			
環 日本海諸国語 VI (ロシア語)		2			2			
その他	言 語 学 I	1			1			
	言 語 学 II	1			1			
修得すべき単位数		75単位以上						

Curriculum 商船学科

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	自然	基礎数学 A I	2	2				
		基礎数学 A II	2	2				
		基礎数学 B I	1	1				
		基礎数学 B II	1	1				
		物理学 I	2	2				
	基礎科学実験	1		1				
外国語	総合英語 VI	1				1		
	計	10	8	1		1		
人文・社会	人文・社会	総合国語 I A	2	2				
		総合国語 I B	2	2				
		総合国語 II	2		2			
		総合国語 III	2		2			
		国語表現	1			1		
		日本語と文化	1				1	
		歴史 I	2	2				
		歴史 II	2		2			
		歴史学 I	1				1	
		歴史学 II	1				1	
		地理	2	2				
		倫理	2		2			
		哲学 I	1				1	
		哲学 II	1				1	
		政治・経済	2			2		
選択科目	自然	微分積分学 I	2		2			
		微分積分学 II	2		2			
		線形代数 I	1		1			
		線形代数 II	1		1			
		解析学 I	2			2		
		解析学 II	2			2		
		確率と統計	1			1		
		総合数学	1			1		
		数学特講 I	1				1	
		数学特講 II	1				1	
		物理学 II	2		2			
		物理学 III	1			1		
		化学 I	2	2				
		化学 II	2		2			
		科目	保・体	保健 I	1	1		
保健 II	2			2				
体育 I	2				2			
体育 II	2					2		
体育 III	1					1		
芸術	音楽		1	1				
	美術		1	1				
	書道		1	1				
	総合英語 I		3	3				
	総合英語 II		3		3			
外国語	外国語		総合英語 III	2		2		
			総合英語 IV	1			1	
			総合英語 V	1				1
			英語表現 I	2	2			
			英語表現 II	2		2		
		英語表現 III	2			2		
		英会話 I	1	1				
		英会話 II	1		1			
		英会話演習 I	1				1	
		英会話演習 II	1				1	
		英語演習 I	1				1	
		英語演習 II	1				1	
		英語演習 III	1				1	
		環日本海諸国語 I (中国語)	1			1		
		環日本海諸国語 I (韓国語)	1			1		
環日本海諸国語 I (ロシア語)	1			1				
環日本海諸国語 II (中国語)	1				1			
環日本海諸国語 II (韓国語)	1				1			
環日本海諸国語 II (ロシア語)	1				1			
環日本海諸国語 III (中国語)	1				1			
環日本海諸国語 III (韓国語)	1				1			
環日本海諸国語 III (ロシア語)	1				1			
その他	英語圏異文化実習	3				3		
	環日本海諸国異文化実習	3				3		
	修得すべき単位数	75単位以上						

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

■エコデザイン工学専攻

全ての技術は環境との共存に配慮しなければならないとの理念のもと、本専攻では、エンジニアに必要な工学全般の技術とともに、環境に配慮した技術、すなわちエコテクノロジーについて教育を行います。また、人・地球との共生の精神を理解し、グローバルエンジニアとしての素養を有する人材を育成します。本科教育で修得した基礎学力の上に高度化・複合化した教育を行うとともに、環境関連科目や工業倫理に関する共通科目を編成します。また、PBL教育、インターンシップ、特別研究を通じ、開発能力を有した創造的技術者を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
専攻科 共通科目	計測・制御	2	2				
	プログラミング工学	2		2			
	生物工学	2				2	
	力学基礎	2		2			
	工学倫理	2	2				
	技術と環境	2			2		
	環境工学	2			2		
	工業数学	2	2				
	MOT入門	2		2			
	インターンシップA	2or3		2or3			
インターンシップB	2or3		2or3				
エコデザイン工学特論	2				2		
特別演習	2	2					
地域産業学	2		2				
共通科目開設単位計		28~30	8	12~14	4	4	
専攻科 専門科目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	エコデザイン工学特別研究Ⅱ	5				5	
	材料工学特論	2	2				
	振動工学特論	2	2				
	シミュレーション工学特論	2	2				
	流体工学特論	2	2				
	材料機能システム論	2		2			
	精密加工学	2		2			
	熱工学特論	2		2			
	応用システム特論	2		2			
	生産加工学	2			2		
	数値解析	2			2		
	電気回路特論	2	2				
	ロボット工学特論	2	2				
	知的信号処理特論	2	2				
	エネルギー論	2	2				
	電磁波工学	2		2			
	パワーエレクトロニクス特論	2		2			
	エコ電力システム工学特論	2		2			
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	物理化学特論	2	2				
	無機材料特論	2	2				
	複合材料工学	2	2				
	機能性高分子材料	2		2			
	材料機能特論	2		2			
	工コマテリアル特論	2		2			
精密有機合成化学	2			2			
生体物質機能概論	2			2			
食品化学工学	2				2		
機器分析論	2				2		
専攻科目開設単位計		72	24	22	15	11	
専門科目開設科目単位計		100~102	32	34~36	19	15	
修得単位			専門科目として54単位以上修得				
一般・専門科目 開設単位 合計		116~118	36	38~40	21	21	
一般・専門科目 修得単位 合計			62 単位以上修得				

■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1 年		2 年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2					
	技 術 英 語	2		2			
	応 用 数 学 特 論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国 際 関 係 論	2					
	経 営 戦 略 特 論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2					
	情 報 処 理 学	2	2				
	パラメータ設計	2					
	生産開発システム	2					
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	技術・産業演習	2	2				
	港 湾 実 務	2					
	港 湾 物 流	2					
	地 球 科 学 概 論	2					
	衝 撃 工 学	2	2				
	地 域 産 業 学	2		2			
専門共通科目開設単位数	39	15	8				
専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2			
	制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5					
	制御情報システム工学実験	4	2	2			
	制御情報システム工学演習	4	2	2			
	オブジェクト指向プログラミング	2		2			
	計測制御システム工学	2	2				
	量子エレクトロニクス	2		2			
	通信工学特論	2	2				
	電子物性工学	2	2				
	電磁波工学特論	2					
	生体情報工学	2					
計算工学特論	2		2				
ネットワークシステム工学	2						
知能情報処理工学	2		2				
専門専攻科目開設単位数	42	12	14				
専門科目開設単位数計	81	27	22				
一般・専門科目単位数計	97	31	24				
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1 年		2 年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	技 術 英 語	2		2			
	応 用 数 学 特 論	2	2				
	応用物理学特論	2	2				
	数学・物理学演習	2		2			
	国 際 関 係 論	2				2	
	経 営 戦 略 特 論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2				2	
	情 報 処 理 学	2	2				
	技術・産業演習	2	2				
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(国外)	3	3				
	パラメータ設計	2				2	
	生産開発システム	2					2
	港 湾 実 務	2				2	
	港 湾 物 流	2				2	
	地 球 科 学 概 論	2					2
	衝 撃 工 学	2	2				
	地 域 産 業 学	2		2			
専門共通科目開設単位数	39	15	8	8	8		
専 門 専 攻 科 目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	12	4	4	4		
	国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4				4	
	経営学特論Ⅰ	2	2				
	経営学特論Ⅱ	2		2			
	専門英書講読	2		2			
	経営管理特論	2	2				
	環日本海ビジネス事情	2	2				
	環日本海ビジネス演習	2		2			
	地域経営特論	2	2				
	ビジネス創造論	2	2				
	企業論特論	2		2			
	国際ビジネス外書講読	2		2			
	企業と雇用	2		2			
	地域イノベーション論	2					2
	国際ビジネス特論	2		2			
	数理意思決定論	2				2	
	ビジネス会計論	2				2	
	応用情報処理論	2				2	
	環境マーケティング論	2					2
現代流通論	2	2					
マーケティング特論	2		2				
商業英語	2		2				
経営システム分析論	2		2				
経営システム科学論	2					2	
専門専攻科目開設単位数	60	16	24	10	10		
専門科目開設単位数計	90	31	32	18	18		
一般・専門科目単位数計	115	35	34	22	24		
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
専門 共通 科目	技術者倫理・企業倫理	2	2				
	技術英語	2		2			
	応用数学特論	2		2			
	応用物理学特論	2		2			
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2		2			
	経営戦略特論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2			2		
	情報処理学	2		2			
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2	2				
	インターンシップA(国内)	2		2			
	インターンシップB(国外)	3		3			
	港湾実務	2			2		
	港湾物流	2			2		
	地球科学概論	2	2				
	技術・産業演習	2		2			
	衝撃工学	2		2			
	地域産業学	2	2				
専門共通科目開設単位数	39	8	15	8	8		
専門 専攻 科目	海事システム工学特別研究Ⅰ	9	2	2	5		
	海事システム工学特別研究Ⅱ	5			5		
	海事システム工学実験	4	2	2			
	海事システム工学演習	4	2	2			
	船用制御システム	2		2			
	ナビゲーション・システム	2		2			
	輸送機器デザイン	2		2			
	海洋施設環境・情報工学	2		2			
	熱機関工学特論	2	2				
	タービン特論	2		2			
	流体工学特論	2		2			
	海上労働法	2		2			
	伝熱工学特論	2	2				
	電子工学特論	2			2		
専門専攻科目開設単位数	42	10	12	13	7		
専門科目開設単位数計	81	18	27	21	15		
一般・専門科目単位数計	97	24	31	23	19		
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
エレクトロ デザイン 工学専攻	一般 科目	言語と文化	2			2	
		歴史と文化	2			2	
		思想と文化	2		2		
		環境社会学	2			2	
	外国 語	英語Ⅰ	2	2			
		英語Ⅱ	2		2		
		英語コミュニケーションⅠ	2	2			
	英語コミュニケーションⅡ	2		2			
一般科目開設単位数	小計	16	4	4	2	6	
修得単位数 一般科目として8単位以上修得							

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
制御情報 システム 工学専攻	一般 科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2	2			
		日本語・日本文学	2			2	
		地域社会研究	2		2		
		健康科学	2			2	
		産業特論	2		2		
		環日本海文化論	2			2	
一般科目開設単位数	16	4	2	4	6		

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
国際ビ ジネス 学専攻	一般 科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2	2			
		日本語・日本文学	2			2	
		地域社会研究	2		2		
		健康科学	2			2	
		産業特論	2		2		
環日本海文化論	2			2			
一般科目開設単位数	16	4	2	4	6		

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
海事シ ステム 工学専攻	一般 科目	英語特論Ⅰ	2	2			
		英語特論Ⅱ	2		2		
		応用英語	2		2		
		日本語・日本文学	2	2			
		地域社会研究	2			2	
		健康科学	2	2			
		産業特論	2			2	
環日本海文化論	2	2					
一般科目開設単位数	16	6	4	2	4		

5 教員名簿

■機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	浅地 豊久 Asaji Toyohisa	設計製図 振動工学
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	製造と加工Ⅲ 非鉄金属材料
教授 Professor	博士(工学)	岡根 正樹 Okane Masaki	材料力学Ⅰ, Ⅱ 材料強度学
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直樹 Sase Naoki	機構学 製造と加工Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	製造と加工Ⅰ 材料プロセス
教授 Professor	博士(工学)	寺西 恒宣 Teranishi Tsunenobu	伝熱工学 熱工学特論
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	池田 英俊 Ikeda Hidetoshi	工業力学 ロボット工学Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜多 正雄 Kita Masao	基礎材料工学Ⅰ 材料物性Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	坂本 佳紀 Sakamoto Yoshinori	情報処理Ⅰ 環境強度Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	白川 英観 Shirakawa Hidemi	熱力学Ⅰ 流体工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	豊嶋 剛司 Toshima Takeshi	応用物理Ⅰ 材料物性Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Keiichi	ものづくり基礎工学実験 機械製図
准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	エネルギー機械 機械計測工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomoki	制御工学Ⅰ, Ⅱ 基礎工学実験Ⅰ

■電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	櫻井 豊 Sakurai Yutaka	電気材料 制御工学Ⅰ
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	コンピュータサイエンス 電気機械Ⅰ
教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	シミュレーション工学 材料力学Ⅰ, Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	高田 英治 Takada Eiji	計測工学Ⅰ, Ⅱ システム工学
教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ システム工学実験Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	西田 均 Nishida Hitoshi	流体力学 流体工学特論
教授 Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	ものづくり工学 メカトロ基礎工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	池田 慎治 Ikeda Shinji	電気回路Ⅲ 電子工学Ⅰ, Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正樹 Izawa Masaki	機械工作法 情報処理Ⅱ

准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田文彦 Ishida Fumihiko	情報処理 計算機システム I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学 I 設計製図 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	多田和広 Tada Kazuhiro	電子回路 I, II 電子物性論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎明広 Fujisaki Akihiro	応用数学 I, II 応用物理 I, II
准教授 Associate Professor	修士(工学)	古川裕人 Furukawa Hiroto	電気回路 I, II 通信工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	北村拓也 Kitamura Takuya	応用数学 III 制御工学 II
助教 Assistant Professor	博士(工学)	西島健一 Nishijima Kenichi	基礎電気工学 技術者倫理

物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合孝恵 Kawai Takae	物理化学 I 情報処理 II
教授 Professor	博士(工学)	川淵浩之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学 III 有機工業化学
教授 Professor	博士(薬学)	後藤道理 Goto Michimasa	生物化学 II 薬理学
教授 Professor	工学博士	高廣政彦 Takahiro Masahiko	応用物理 I 複合材料工学
教授 Professor	博士(工学)	袋布昌幹 Tafu Masamoto	材料工学 I エコマテリアル特論
教授 Professor	博士(理学)	津森展子 Tsumori Nobuko	化学 I 化学 II
准教授 Associate Professor	博士(農学)	篠崎由紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学 生物工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中島栄次 Nakajima Eiji	基礎化学工学 化学工学 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間中淳 Manaka Atsushi	分析化学実験 無機化学 III
准教授 Associate Professor	博士(農学)	峰本康正 Minemoto Yasumasa	化学工学 II 応用数学 I
准教授 Associate Professor	博士(工学)	森康貴 Mori Yasutaka	高分子化学 材料工学 II
講師 Lecturer	博士(工学)	高松さおり Takamatsu Saori	分析化学実験 環境工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	迫野奈緒美 Sakono Naomi	無機材料特論
助教 Assistant Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福田知博 Fukuda Tomohiro	有機化学 III 分析化学 I
助教 Assistant Professor	博士(理学)	山岸正和 Yamagishi Masakazu	機器分析 II 有機化学実験
嘱託教授 Professor	博士(工学)	安田賢生 Yasuda Kensei	無機化学 II 無機工業化学

電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワーク ネットワークシステム工学
教授 Professor	博士(工学)	小熊 博 Oguma Hiroshi	制御工学 通信工学特論
教授 Professor	博士(工学)	椎名 徹 Shiina Toru	メディア工学 電気磁気学
教授 Professor	博士(工学)	篠川 敏行 Shinokawa Toshiyuki	計算機構成論 論理回路
教授 Professor	博士(学術)	新開 純子 Shinkai Junko	プログラミング アルゴリズムとデータ構造
教授 Professor	博士(工学)	塚田 章 Tsukada Akira	電気回路 生体情報工学
教授 Professor	博士(情報科学)	古山 彰一 Furuyama Shoichi	創造工学設計 数値計算
教授 Professor	博士(工学)	水本 巖 Mizumoto Iwao	電子通信工学 応用電磁システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋口 俊輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステム 情報処理学
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早勢 欣和 Hayase Yoshikazu	情報数学 ソフトウェア工学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的場 隆一 Matoba Ryuichi	応用数学 技術英語
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山口 晃史 Yamaguchi Akifumi	工学演習 電子システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	由井 四海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス コンピュータ計測
助手 Research Associate	修士(工学)	門村 英城 Kadomura Hideki	電子情報工学実験

国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(P h D)	西原 雅博 Nishihara Masahiro	異文化コミュニケーション論 時事英語講読
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	財務会計論 管理会計論
教授 Professor	博士(学術)	宮重 徹也 Miyashige Tetsuya	経営戦略論 経営管理論
准教授 Associate Professor	修士(学術)	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
准教授 Associate Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会地域経済論 環日本海社会経済史
准教授 Associate Professor	博士(学術)	清 剛治 Kiyoshi Takeharu	経済学概論 国際ビジネス論
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩原 信吾 Hagiwara Shingo	経営情報 情報基礎
准教授 Associate Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法 雇用関係法
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現(ロシア語) ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	物流管理論 国際物流論
講師 Lecturer	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	金融論 原価企画論
講師 Lecturer	博士(総合政策)	那須野 育大 Nasuno Ikuhiro	商学概論 流通システム論

商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合雅司 Kawai Masashi	航海測位論 航法システム論
教授 Professor	博士(工学)	千葉元 Chiba Hajime	船舶安全学 海洋施設環境・情報工学
教授 Professor	博士(工学)	桐伸司 Toga Shinji	応用力学 航海力学
教授 Professor	博士(工学)	中谷俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論 航海計測論
教授 Professor	博士(工学)	保前友高 Homae Tomotaka	電気・電子工学 材料力学
教授 Professor	博士(工学)	見上博 Mikami Hiroshi	蒸気原動機工学 タービン特論
教授 Professor	博士(工学)	水谷淳之介 Mizutani Junnosuke	設計製図 工業材料学
教授 Professor	博士(工学)	山本桂一郎 Yamamoto Keiichiro	パワーエレクトロニクス 生産開発システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	経田僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学 工作実習
准教授 Associate Professor	修士(経済学) 一級海技士(航海)	笹谷敬二 Sasaya Keiji	海洋実習 運用概論
准教授 Associate Professor	博士(理学)	向瀬紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶工学 応用数学
講師 Lecturer	博士(理学)	福留研一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象論 流体工学
助教 Assistant Professor	準学士 一級海技士(機関)	篠島司郎 Sasajima Shiro	船用機関実務 商船実務
助教 Assistant Professor	博士(工学)	山田圭祐 Yamada Keisuke	船用機関概論 内燃機関工学
助教 Assistant Professor	修士(海事科学)	西井典子 Nishii Noriko	海上交通論 航海英語
嘱託教授 Professor	博士(工学)	遠藤真 Endo Makoto	船体管理論 船体運動論
嘱託教授 Professor	学術博士	八賀正司 Hachiga Tadashi	計測・自動制御工学 電子回路
嘱託准教授 Associate Professor	準学士 一級海技士(機関)	佐々木正 Sasaki Tadashi	補助機械工学 流体工学
嘱託助教 Assistant Professor	準学士 三級海技士(機関)	野村誠 Nomura Makoto	校内練習船実習 実験実習

練習船若潮丸

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
船長・准教授 Captain	準学士 一級海技士(航海)	中松英也 Nakamatsu Hideya	校内練習船実習 実験実習
機関長・准教授 Chief Engineer	準学士 一級海技士(機関)	山谷尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習 実験実習
一等航海士・助教 Chief Officer	準学士 三級海技士(航海)	金山恵美 Kanayama Emi	校内練習船実習 実験実習
一等機関士・助教 First Engineer	準学士 三級海技士(機関)	檜谷亮一 Hinotani Ryoichi	校内練習船実習 実験実習

■一般教養科

〔本郷キャンパス〕

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現 英語コミュニケーション
教授 Professor	学 士	高熊 哲也 Takakuma Tetsuya	総合国語・日本語と文化 言語と文化
教授 Professor	修士 (文学)	富田 尚 Tomita Takashi	総合英語 英語 I
教授 Professor	理学 修士	長谷川 貴之 Hasegawa Takayuki	数学特講 I 数学特講 II
教授 Professor	修士 (体育学)	日比 端 洋 Hibi Naohiro	体育 I 体育 III, V
教授 Professor	文学 修士	宮崎 真矢 Miyazaki Shinya	倫理 哲学
教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学 I 物理学 II
准教授 Associate Professor	博士 (学術)	足立 繭子 Adachi Mayuko	総合国語 I・II 国語表現
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	基礎数学 A I, A II 確率と統計
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	高越 義一 Takagoshi Yoshikazu	英語表現 II, III 英語 II
准教授 Associate Professor	修士 (農学)	森田 康文 Morita Yasufumi	化学 I 生物学
講師 Lecturer	博士 (理学)	笠谷 昌弘 Kasatani Masahiro	基礎数学 B I, B II 微分積分学 I, II
助教 Assistant Professor	修士 (体育学)	仁木 康浩 Niki Yasuhiro	体育 I, II, III, IV 保健
助教 Assistant Professor	博士 (史学)	横山 恭子 Yokoyama Kyoko	歴史 I, II 歴史学 I, II

〔射水キャンパス〕

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	文学 修士	岡部 寛子 Okabe Hiroko	総合国語 国語表現
教授 Professor	理学 修士	河合 均 Kawai Hitoshi	解析学 基礎数学
教授 Professor	博士 (理学)	寺崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学 理科
教授 Professor	博士 (工学)	星野 朱美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語 II (中国語) 環日本海諸国語 III (中国語)
教授 Professor	修士 (経済学) 修士 (教育学)	横田 数弘 Yokota Kazuhiro	政治・経済 地域社会研究
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	大竹 由記子 Ohtake Yukiko	物理学 I 物理学 II
准教授 Associate Professor	修士 (体育学)	大橋 千里 Ohashi Chisato	保健 体育 II
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	クーパー トッド Cooper Todd	英会話 英語表現
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	近藤 周吾 Kondo Shugo	総合国語 日本文学講読
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	櫻井 秀人 Sakurai Hideto	解析学 基礎数学

准教授 Associate Professor	修士(教育学)	モアナヌ チャールトン ビル Moananu Charlton Bill	英会話 総合英語
准教授 Associate Professor	修士(学術)	山本有希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語) 環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)
准教授 Associate Professor	修士(教育学)	楽山進 Rakuyama Susumu	総合英語 英語表現
講師 Lecturer	修士(英語教育) MA(ELT)	山村啓人 Yamamura Hiroto	総合英語 英語表現
助教 Assistant Professor	修士(教育学)	林直人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ 体育Ⅱ
嘱託教授 Professor	文学修士	金川欣二 Kanagawa Kinji	総合英語 言語学
嘱託教授 Professor	体育学修士	金子龍一 Kaneke Ryuichi	体育Ⅰ 体育Ⅳ

センター

ソリューションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	学士(工学)	浦風和裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図Ⅱ メカトロ創造設計
講師 Lecturer	博士(工学)	石黒農 Ishiguro Minoru	機械力学 シミュレーション工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	伊藤尚 Ito Nao	応用物理Ⅲ 電子回路Ⅲ
助教 Assistant Professor	博士(工学)	山本久嗣 Yamamoto Hisashi	流体力学 技術者倫理入門

イノベーションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
准教授 Associate Professor	博士(工学)	太田孝雄 Ota Takao	工業力学Ⅰ 有機材料

6 製品開発・社会貢献本部

平成27年4月、従前の地域人材開発本部と製品開発本部を発展的に統合し、製品開発・社会貢献本部を設置いたしました。当本部は、本部長である校長のもと、ソリューションセンター、イノベーションセンター、国際交流センターの3つのセンターによって構成されています。それぞれのセンターは独自性を保ちつつ、相互に連携・協力して、富山高等専門学校が果たすべき教育・研究の高度化、社会貢献活動、並びに国際交流活動を展開しております。

当本部では、地元地域のニーズに対応した製品開発業務を積極的に推進することはもちろん、地域社会・企業と協働して、国際性や創造性の豊かな実践力ある人材の育成に注力しています。全国の高専の先駆けとして、基礎研究、技術開発、教育実践に関するこれまでの蓄積を活かしつつ、地域産業の発展や地域活性化に寄与すべく、努力する決意です。

■ソリューションセンター

環境・エネルギー問題に対応するための技術革新、道路交通システムの自動化やビッグデータを利用した様々なサービスシステムの創出が期待されるICTの進化、医療・福祉分野へのさらなる応用が期待されるロボット技術の高度化など、高度な技術に基づく製品開発の要求はますます大きくなっています。

ソリューションセンターは、こういった課題に即応すべく、本校における製品開発と社会貢献活動、地域連携の拠点として、発足した組織です。産業界のニーズを踏まえ、学科や専攻科の枠組みを越えた学際的研究を推進しつつ、企画・提案・製作といった「ものづくり」の工程全般に関する活動を主体的・機動的に行っています。

これらの一連の活動を通して、地元地域における技術的課題の解決や製品開発促進に役立つと、日夜努力を積み重ねています。具体的には、本校が所有する測定機器や加工機、種々の解析ソフトウェアを利用し、機械、電気・電子、制御・情報系分野における、試作品の設計、製作、測定・評価、機器・装置類の改良、技術相談に対応しております。市場動向（消費者ニーズやトレンド）調査、マーケティングやビジネスコンサルティングなども実施できるよう、製品開発や事業改善を総合的に支援できる体制を整えているところです。

また、技術の継承・発展や、地元地域で真に必要なとされる人材の育成にも一層努力してまいります。新しい時代に対応した創造性に富んだ「ものづくり」と、それを支える優れた技術者が求められています。高い倫理観と技術力を具備した次世代を担う人材を育成していくため、製品開発能力を向上させる教育プログラムの開発や技術者育成講座を企画する予定です。学校である以上、地域や企業を支える技術者やビジネスパーソンを卒業生・修了生として輩出していくことは当然の責務ですが、これらに加えて、競争力のある新技術の提供や地域企業の人材育成にも積極的に関与してまいりたいと考えています。



製品開発セミナーの開催



小水力発電アイデアコンテストの開催

■イノベーションセンター

イノベーションセンターは、本校教職員の教育研究能力の向上と研究活動の高度化を支援するために設置された組織です。中心的な業務は、競争的資金の獲得を支援すること、企業、自治体、他高専、大学その他の研究機関との連携を推進することです。個人研究の助成を行うことのみならず、研究を組織化したり、地域社会や他機関との連携を模索したりするため、グリーンイノベーション研究会の開催など、本校教職員の研究レベルを高めるための施策を行っています。企業との共同研究や受託研究では、調整役として中心的な役割を果たしていくことが期待されています。

これらの「支え」「高め」「繋げる」取り組みにより、本校内の研究活動を活性化させることで学生の卒業研究、特別研究のレベルの高度化を行い、学生達の意欲を高めることを目指しています。教職員と協働して研究に打ち込むという経験は、学生自身に刺激を与え、自発的に創意工夫することへの意識づけに大いに寄与するからです。結果的

に、当センターの取り組みは、地域産業界のニーズに適応できる実践的かつ創造的技術者育成に繋がっていくものと確信しております。

■国際交流センター

グローバル化によって、これまでに築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業は、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。経済発展著しい新興国との間でビジネスを展開すること、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっています。海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっています。グローバルな観点で地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況の変化を受けて、全国の高等専門学校では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際交流センターは、このような活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。語学教育の充実や、海外からの短期留学生の受入、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに、国際学術交流協定を締結した海外の大学や地域企業などと連携して、国際シンポジウムの開催、国際共同研究の実施も推進しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



タイ・シンガポール短期留学生の本校訪問

■研究高度化推進室

国立高等専門学校機構は、研究推進を図る上でモデルとなる取り組みを行う高専を「研究推進モデル校」に指定しています。本校は平成28年4月にモデルトライアル校に指定され、平成29年4月から、モデル校として研究推進事業を展開しています。研究高度化推進室は研究推進モデル校事業を企画・実施推進するとともに、全国の高専に研究推進方法を発信波及することを目的にしています。

本校はこれまで教員の研究レベルの向上に努めており、その研究成果を活かして企業等との共同研究や受託研究などを実施しています。研究高度化推進室では、これらの経験を活かし発展させるために、3つの重点研究部門（医薬工・計測部門、ナノ・材料部門、環境部門）を設置しています。各研究部門では、所属する教員が共同で先端的な研究を行うことにより、研究レベルの向上を目指しています。また、各研究部門は連携して研究会などを開催するとともに、研究成果や研究力を学生教育に還元する活動に取り組むことにしています。昨年度は本校が開催した国際会議（ICET2016）にも主体的に関わり、専攻科生等に研究発表させることで国際化教育に寄与しています。



国際会議(ICET2016)での専攻科生の研究発表

7 主要施設

■ 図書館情報センター

図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、学習・教育・研究等のため、本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約77,000冊と雑誌約850種、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約80,000冊と雑誌約970種を備えています。電子ジャーナルについても両キャンパスで10,000タイトル以上提供しています。図書館内には、英語多読本コーナー、就職・進学支援のための資格試験問題集コーナー等が設置してあるほか、DVD等の視聴覚資料も利用できます。

また、本校学生・教職員以外の一般の方々への開放も行っております。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、300台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館・情報センター外観

射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館外観

臨海実習場・練習船若潮丸

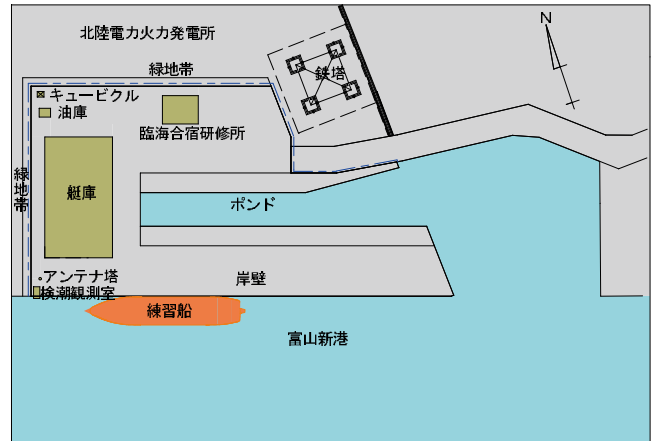
射水キャンパス

臨海実習場（射水市堀江千石6番4）

平成27年3月、射水キャンパスから3キロメートル離れた、射水市堀江千石6番4に移転・新築いたしました。富山新港（伏木富山港新湊地区）東端の北側に位置しており、国道415号線の中野口交差点付近に進入口があります。敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮棧橋などを備えています。

主に商船学科の実習に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。

艇庫には講義室や技業室のほか、実験用・研究用の観測機器や海洋系教育に必要な多数の模型、救命艇、ヨット、カッター（端艇）などを保有しています。



臨海実習場配置図



若潮丸と臨海実習場



若潮丸全容

練習船「若潮丸」

資 格：近海区域 第4種船

主要寸法：全長53.59m 幅10.00m

総トン数：231トン

航海速力：12.50ノット

航続距離：2,700海里

主 機 関：中速ディーゼルエンジン

1,300ps×390rpm 1基

主機プロペラ 4翼可変ピッチ

バウスラスター 1台

スタンスラスター 1台

最大搭載人員：乗組員9名、教員3名、学生44名、計56名

竣工年月日：平成7年9月14日

ポンド内係留船舶

□ 実習艇さざなみ

主要寸法：全長16.00m 幅3.70m

総トン数：15トン

航海速力：18ノット（巡航）

最大搭載人員：乗員2名、教員3名、学生20名、計25名

竣工年月日：平成3年3月3日

□ 実習船わかしお3号

主要寸法：全長7.90m 幅2.64m

総トン数：4.2トン

速 力：23.0ノット

最大搭載人員：乗員2名、その他10名、計12名

竣工年月日：平成10年3月26日

艇庫内収容の舟艇

・実習艇ペがさず	1艇
・全閉囲型救命艇ジュピター	1艇
・救助艇ちどり	1艇
・実習艇いそなみ（エンジン付伝馬船）	1艇
・伝馬船	1艇
・カッター（端艇）	4艇
・ヨット	15艇

8 学生生活

■学校行事（平成29年度）

4

- 入学式
- クラブ紹介
- 新入生オリエンテーション

5

- 新入生合宿研修
- 合同球技大会

6

- 前期中間試験

7

- 北陸地区高専体育大会
- カッターレース大会
- 前期末試験

8

- 夏季休業（本郷～9月30日まで）
射水～9月21日まで
- 全国高専体育大会

9

- 県外工場見学（本郷）
- 商船学科卒業式

10

- 県内工場見学・企業見学（射水）
- ロボットコンテスト

11

- 企業研究会
- 後期中間試験
- 高専祭（志峰祭）

12

- 冬季休業（～1月）

1

- 推薦入試

2

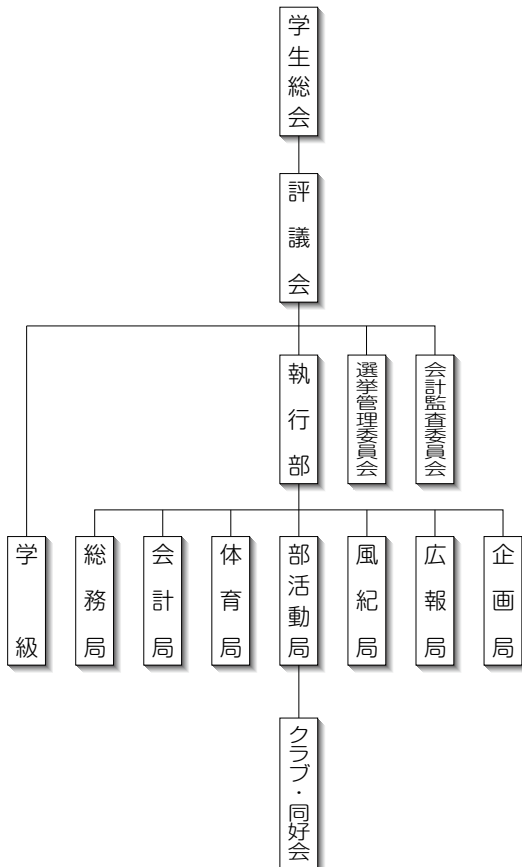
- 学力入試
- 学年末試験
- 卒業研究発表会

3

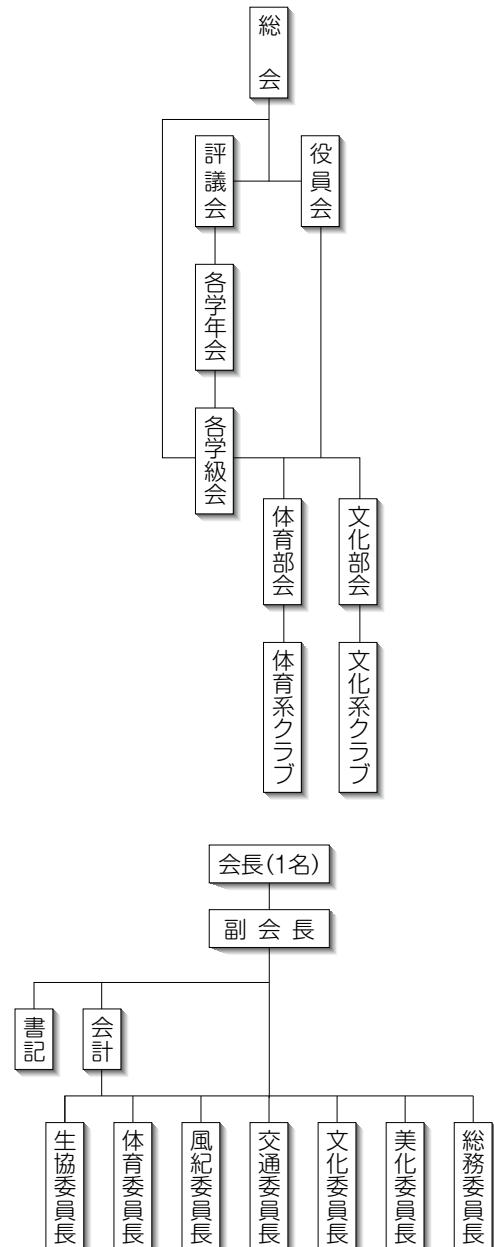
- 卒業式（商船学科を除く）

■学生会組織図

本郷キャンパス



射水キャンパス



■クラブ活動

本郷キャンパス

クラブ

陸上競技	吹奏楽
サッカー	メカテック
野球	茶道
柔道	ピアノ
弓道	美術
剣道	軽音楽
バレーボール	写真
バスケットボール	囲碁・将棋
ラグビー・フットボール	鉄道
バドミントン	
テニス	
ハンドボール	
水泳	
卓球	
ソフトテニス	



剣道



メカテック

射水キャンパス

体育系クラブ

ヨット
漕艇（カッター）
陸上競技
ラグビー
男子バスケットボール
女子バスケットボール
男子バレーボール
女子バレーボール
テニス
柔道
野球
サッカー
バドミントン

体育系同好会

卓球
剣道
水泳
フリースタイルダンス

文化系クラブ

新聞
デジタルメディア創作
吹奏楽
メカトロ技術研究

文化系同好会

茶道
軽音楽
ESS
美術
弦楽
日本舞踊
文芸
アントレプレナー研究
海王丸
機関学
書道
写真
航海学
創劇



メカトロ技術研究



漕艇（カッター）

福利厚生施設

本郷キャンパス

学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

合宿研修所

本研修所は、課外教育活動のための宿泊施設です。合宿研修に必要な集会室、浴室、自炊用具などがあります。学生と教員が寝食を共にして、健全な学生生活を送り、豊かな人間性を育むことを目的として使用されています。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



合宿研修所

射水キャンパス

奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、創立9年目を迎える生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

■ 学生相談室

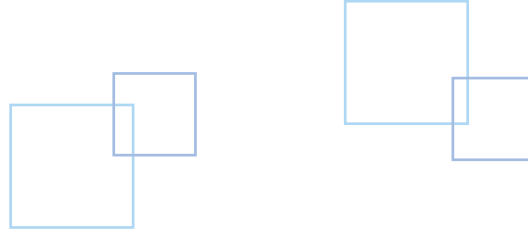
学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士）が配置されています。学校生活における様々な相談、学業・進路に関する相談、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題などにもスタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の開室時間は以下の通りです。

本郷キャンパス			
学 生 相 談 室	月～金	相談員	15:30 – 17:00
	火・水	カウンセラー	13:00 – 17:00
学 生 寮	第二火曜日	カウンセラー	17:00 – 21:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 – 17:00
射水キャンパス			
学 生 相 談 室	月～金	相談員	15:30 – 17:00
	月	カウンセラー	14:30 – 17:30
	水	カウンセラー	13:30 – 17:30
保 健 室	月～金	看護師	8:30 – 17:00



学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）

■ 学寮

学生の就学の便を図るため、学寮を設置しています。本郷キャンパスでは「まほうがくりょう仰岳寮」、射水キャンパスでは「わかいらょう和海寮」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学寮には、家庭にはない友人との語らいや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

仰岳寮（本郷キャンパス）

平成29年4月1日現在

学 科	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		11	10 (1)	12 (2)	8 (1)	11 (1)	52 (5)
電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科		8 (1)	12	9 (1)	8 (1)	7	44 (2)
物 質 化 学 工 学 科		15 (8)	10 (6)	9 (3)	14 (11)	8 (2)	56 (30)
エ コ デ ザ イ ン 工 学 専 攻							
合 計		34 (9)	32 (7)	30 (6)	30 (12)	26 (3)	152 (37)

() 内は女子学生内数

和海寮（射水キャンパス）

平成29年5月1日現在

学 科	学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
電 子 情 報 工 学 科		8 (3)	12 (3)	16 (6)	7 (0)	11 (5)	54 (17)
国 際 ビ ジ ネ ス 学 科		18 (16)	20 (16)	18 (15)	8 (4)	9 (7)	73 (58)
商 船 学 科		13 (2)	21 (7)	18 (3)	16 (2)	14 (2)	82 (16)
海 事 シ ス テ ム 工 学 専 攻		1 (1)					
制 御 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻							
国 際 ビ ジ ネ ス 学 専 攻			1				1
合 計		40 (22)	54 (26)	52 (24)	31 (6)	34 (14)	211 (92)

() 内は女子学生内数

9 地域社会との連携

■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員234社、個人会員18名です。

(平成29年6月15日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長

(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)

第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長

(任期：平成19年11月1日～平成21年12月)

第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長

(任期：平成21年12月14日～平成23年10月)

第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長

(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)

第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長

(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)

第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長

(任期：平成27年11月3日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

●講演会

- ・富山高等専門学校長石原外美による「日本の未来を拓く人材育成について―大学・高専における最近の動向―」との演題で講演会(25.10.31)を開催
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構の紀聖治理事による「高専の新しい未来を切り拓くために～断絶的な環境変化に立ち向かう～」との演題で講演会(26.10.31)を開催
- ・YKK(株)取締役副社長(工機技術本部長)大谷渡氏による「富山県のものづくりの更なる強化に向けて」との演題で講演会(27.11.2)を開催
- ・ロバスト経営研究所所長 飴 久晴氏による「M.M.K(儲かって、儲かって、困る)企業への小さなヒント」との演題で講演会(28.10.28)を開催

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- 会員企業と富山高専の教職員及び学生との交流の場の提供
- シニアフェローによる富山高専学生の教育・研究の支援
- キャリア教育支援
- 会員企業を学生に紹介する企業研究会
- 共同研究に関する助成



企業研究会



講演会

■公開講座（平成28年度実施）

講座名	開設分野	期間	受講対象者	募集人数
巨大ロボットの作り方 ー巨大ロボットは大地に立つか？ー	機械系	8/6(土)～7(日)	中学生	80
『体験!! 3次元CAD』 ～コンピュータでものづくり～	機械系	8/6(土)～7(日)	中学生	120
ものづくりコンテスト 卵を守れ!	機械系	8/6(土)～7(日)	中学生	80
3Dプリンターでものづくり体験	機械系	8/6(土)～7(日)	中学生	120
歩けっ! 人型二足歩行ロボット!!	情報系	8/6(土)～7(日)	中学生	60
この世界はコンピュータにどう映る? ～コンピュータの目の世界へようこそ!～	情報系	8/6(土)～7(日)	中学生	60
雷センサーをつくろう	情報系	8/6(土)～7(日)	中学生	60
炭を使って水をきれいにしてみよう!	物質系	8/6(土)～7(日)	中学生	64
描ける導線 ～化学と電気の世界をつなぐ～	物質系	8/6(土)～7(日)	中学生	64
コンピュータを組み立てよう	情報系	8/26(金)	中学生	10
『スマホアプリって自分で作れるの?』	情報系	8/10(水)～12(金)	中学生	45
ロボットの頭脳とは ～LEGOを使ったプログラミング実験～	情報系	8/10(水)～12(金)	中学生	48
はじめての電子工作	電気・電子系	8/10(水)～12(金)	中学生	30
モバイル端末で遠隔操作しよう	情報系	8/10(水)～12(金)	中学生	30
異文化について学ぼう	人文系	8/10(水)～12(金)	中学生	60
若潮丸体験航海(航海士・機関士の仕事)	商船系	8/10(水)～12(金)	中学生	120
English at Kosen	人文系	8/10(水)	中学生	40
映画で学ぶ英語リスニング攻略法	人文系	8/11(木)	中学生	25
すぐに使える簡単な中国語講座!	人文系	8/12(金)	中学生	10
LEGOで相撲ロボットを作ろう	機械系	8/22(月)～23(火)	小学生	32

■出前授業・出前講座（平成28年度実施）

講座名	実施期日	該当教科・領域	実施場所	受講対象者
親子で楽しくコーディネーショントレーニング	6月12日(日)	体育	射水市立東明小学校	小学4年生, 保護者
体カトレーニング	12月3日(金)	体育	富山市立藤ノ木中学校	中学1・2年生

10 研究活動

■ 科研費採択状況

□ 文部科学省科学研究費助成事業

種 目	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
基 盤 研 究(A)	件 数	1	1	0	0	0
	金 額	16,640	11,700	0	0	0
基 盤 研 究(B)	件 数	1	1	1	1	1
	金 額	5,590	5,200	9,620	2,340	2,730
基 盤 研 究(C)	件 数	16	13	15	16	22
	金 額	25,090	20,540	23,140	28,210	35,880
挑 戦 的 萌 芽 研 究	件 数	2	1	2	5	4
	金 額	3,510	1,040	1,690	9,620	3,640
若 手 研 究(B)	件 数	5	7	7	7	6
	金 額	9,490	10,530	7,670	11,830	7,150
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	件 数	0	0	2	3	1
	金 額	0	0	2,080	3,510	1,170
特 別 研 究 員 奨 励 費	件 数	0	0	1	0	0
	金 額	0	0	1,233	0	0
奨 励 研 究	件 数	2	1	2	2	2
	金 額	1,200	600	1,100	1,100	1,140
合 計	件 数	27	24	30	34	36
	金 額	61,520	49,610	46,533	56,610	51,710

金額単位：千円 間接経費含む

■ 共同研究実施状況

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件 数	44	42	50	61	51
金 額	12,772	11,470	13,883	14,660	19,764

金額単位：千円

■ 受託研究実施状況

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件 数	18	11	11	10	10
金 額	23,040	26,163	32,685	28,553	6,264

金額単位：千円 間接経費含む

■ 寄附金受入状況

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件 数	21	20	746	356	29
金 額	20,257	14,859	38,071	30,909	28,646

金額単位：千円

11 国際交流活動

国際学術協定校

韓国・慶熙（キョンヒ）大学

平成24年2月、慶熙大学全学（韓国ソウル市および水原市）との学術交流協定を締結しました。

慶熙大学との学術交流は、平成18年2月に慶熙大学環境応用化学部（韓国水原市）との学術交流協定締結に始まり、慶熙大学全学部と学術交流協定を締結することにより、工学・ビジネス・商船の分野を網羅する本校全ての学科の学生交流と研究交流が可能となりました。

中国・東北大学

東北大学（中国遼寧省瀋陽市）との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

米国・ハワイ大学

カウアイコミュニティカレッジ

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高等専門学校を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

英国・北アイルランド

サウスイースタン地区連合カレッジ

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ（SERC）とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専

攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キングモンクット工科大学ラカバン校（KMITL）とは、平成25年8月に交流協定書に調印し、短期留学生を相互に受け入れています。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年1回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

ハンガリー・ハンガリー科学アカデミーMFA、 パズマニー・ペーテルカトリック大学、 ブタペスト工科大学

平成27年、ブタペスト市内の上記3つの研究機関、MFA、PPCU、BMEとの国際学術協定を締結しました。

MFAはハンガリー科学アカデミーの下部組織で、欧州内でも研究レベルの高い機関として、ナノ材料やナノシステムなどの研究を行っています。PPCUは360年の歴史を有するハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした21世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BMEはハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている学際性、国際性に優れた大学です。

今後、研究者および学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展をめざします。

シンガポール・テマセクポリテクニク、 ナンヤンポリテクニク

両校とは、平成23年、25年にそれぞれ交流協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

タイ・ランブーン農業技術カレッジ

平成27年に交流協定を締結しました。本校の学生とペアを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。



慶熙大学学生と本校生の交流の様子



KCCでのカヌー実習



SERC学長の表敬訪問



SERCでのロボット制御実習

■海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

□1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。

□半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、異文化体験と英語研修を行っています。国際ビジネス学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月活動するプログラムです。

□異文化実習

- 研修先 カナダ、韓国、台湾、ロシア、米国(ハワイ)の各教育機関
対象 本科3～5年生
期間 3～4週間
内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

□米国・ハワイ州国際インターンシップ

- 研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ
(平成21年交流協定締結)
対象 専攻科生(海事システム工学専攻)・本科3～5年生(商船学科)
期間 2～3週間
内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

□英国・北アイルランド国際インターンシップ

- 研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ(平成22年交流協定締結)
対象 専攻科生(国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻)
期間 4週間
内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講習(各2週間)
工学系専攻：語学研修・実務訓練(各2週間)

□東南アジア海外インターンシップ

- 研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人
対象 専攻科生・本科4年生
期間 2～3週間
内容 実務研修

□アカデミック インターンシップ

- 研修先 ハンガリー、タイの大学・研究機関
対象 専攻科生
期間 4週間程度
内容 研究室に配属し、提携校・期間の指導教員の下で各自の研究課題に取り組む

■短期留学受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

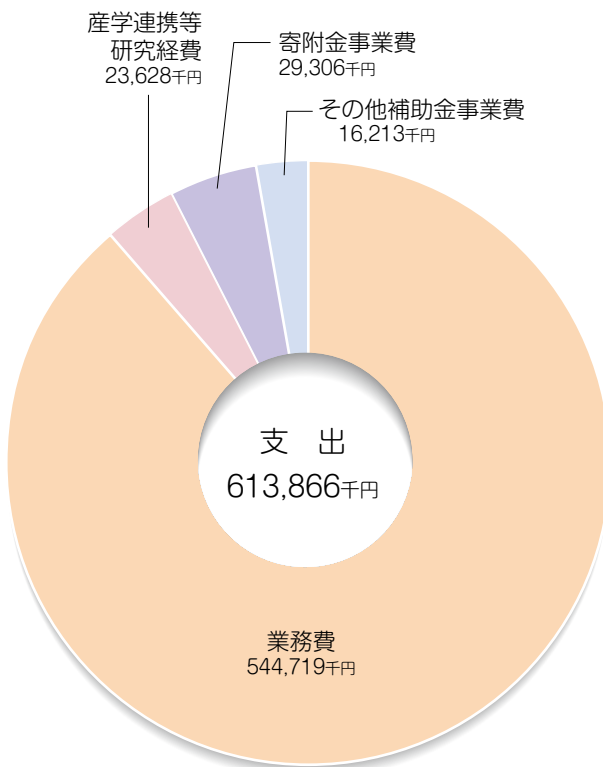
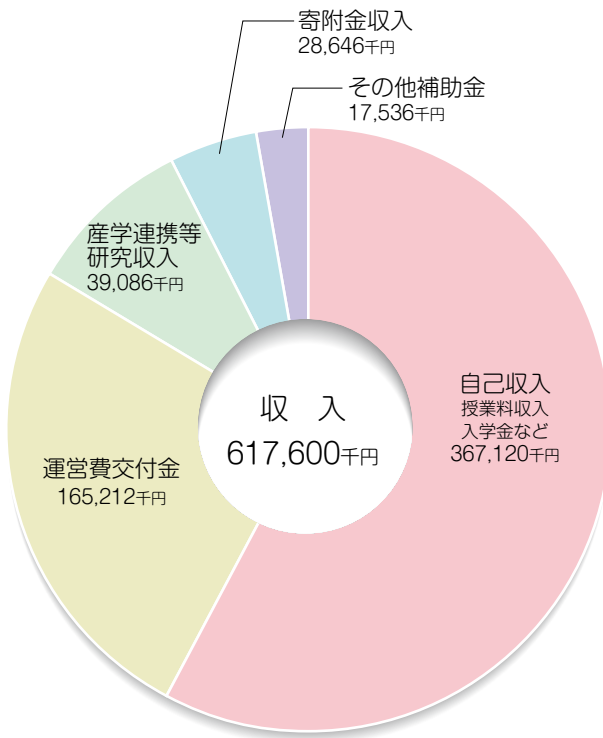
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニック及びナンヤンポリテクニックからも、短期留学生を受け入れています。



高専祭に参加している留学生

12 財務状況

■平成28年度予算



■施設

[本郷キャンパス]

区分	団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
土地	校舎敷地	55,472			55,472
	屋外運動場敷地	36,561			36,561
	寄宿舍敷地	12,535			12,535
	職員宿舍敷地	2,863	596	365	3,824
	合計	107,431	596	365	108,392

(単位：㎡)

区分	団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
建物	校舎	13,973			13,973
	体育館	3,674			3,674
	寄宿舍	4,493			4,493
	図書館	1,633			1,633
	福利施設	1,227			1,227
	管理部	1,483			1,483
	その他	1,023			1,023
	設備室	245			245
	職員宿舍 (戸数)	789 (12)	135 (2)	105 (1)	1,029 (15)
	合計	28,540	135	105	28,780

(単位：㎡)

[射水キャンパス]

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
土地	校舎敷地	45,336		45,336
	屋外運動場敷地	41,703		41,703
	寄宿舍敷地	15,808		15,808
	実験実習地		11,232	11,232
	職員宿舍敷地	6,962		6,962
合計	109,809	11,232	121,041	

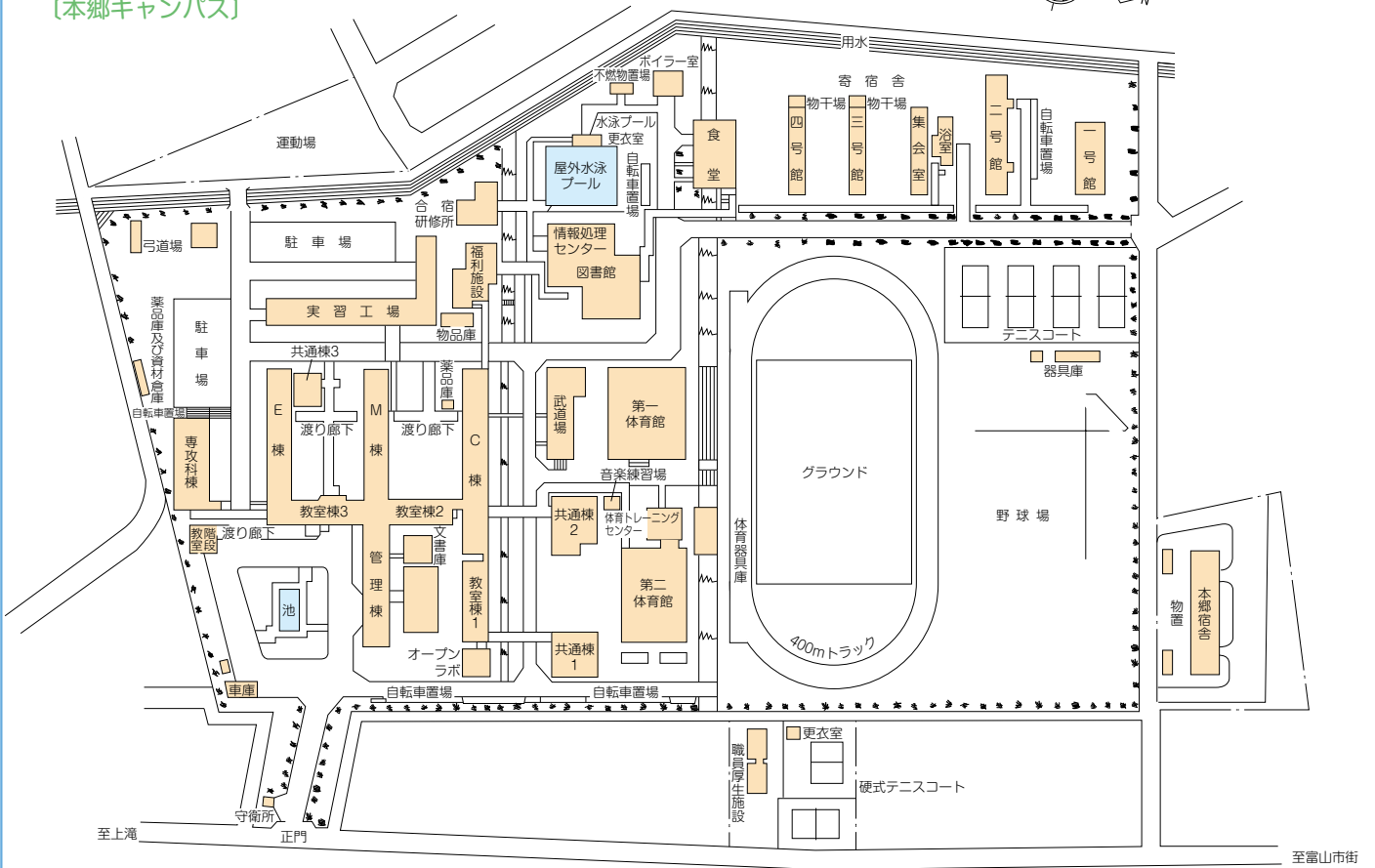
(単位：㎡)

区分	団地名	海老江練合団地	堀江千石団地	計
建物	校舎	14,099	1,423	15,522
	体育館	3,031		3,031
	寄宿舍	7,029		7,029
	図書館	1,626		1,626
	福利施設	1,347		1,347
	管理部	1,537		1,537
	その他	996		996
	設備室	399		399
	職員宿舍 (戸数)	813 (12)		813 (12)
	合計	30,877	1,423	32,300

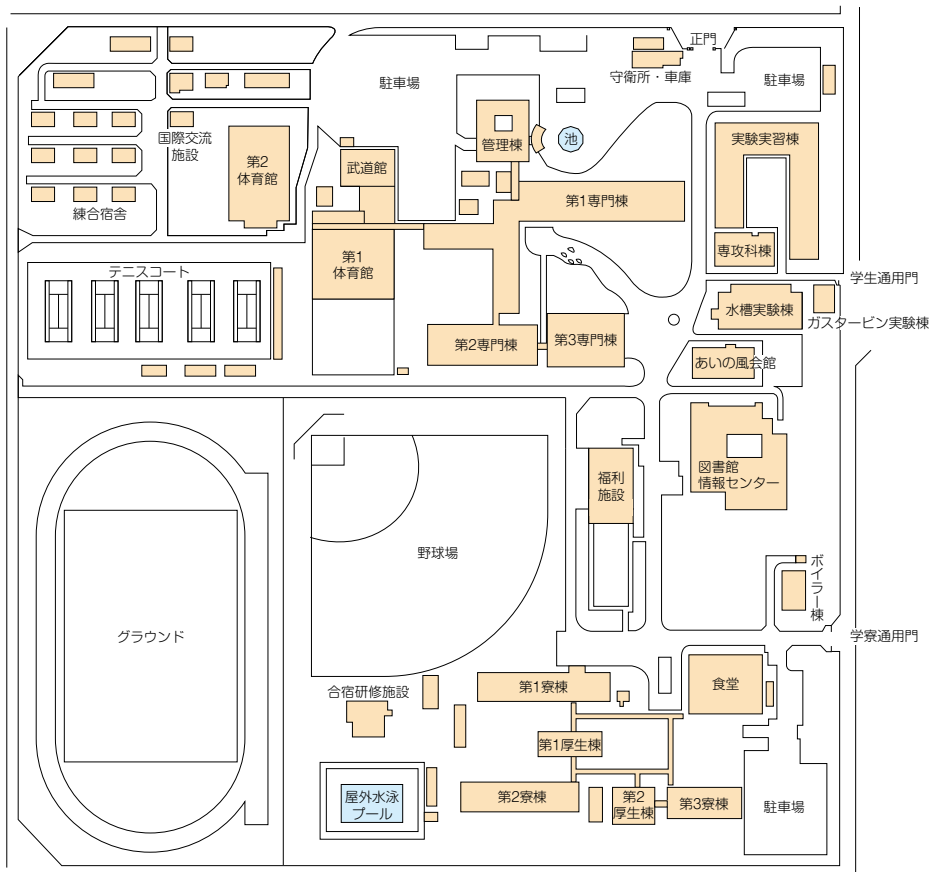
(単位：㎡)

■ キャンパスマップ

[本郷キャンパス]



[射水キャンパス]



臨海実習場の配置図はP35にあります。

13 在学状況

■学生の定員と現員

[本郷キャンパス]

平成29年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
機械システム工学科 40名		43 (2)	43 (3)	45 (3)①	42 (3)①	32 (1)②			205 (12)④
電気制御システム工学科 40名		45 (5)	57 (5)	45 (3)	43 (3)	39 (3)			229 (19)
物質化学工学科 40名		40 (19)	46 (21)	50 (30)①	42 (27)③	40 (20)①			218(117)⑤
エコデザイン工学専攻 24名							34(5)	26 (2)	60 (7)
合計		128 (26)	146 (29)	140 (36)②	127 (33)④	111 (24)③	34(5)	26 (2)	712(155)⑨

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

[射水キャンパス]

平成29年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
電子情報工学科 40名		43 (15)	40 (10)	56 (13)	42(11)①	40(8)①				221 (57)②
国際ビジネス学科 40名		43 (37)	45 (30)	52 (43)①	42(37)	35(30)				217(177)①
商船学科 40名	航海コース 20名 機関コース 20名	40 (12)	24 (9) 21 (3)	22 (7) 19 (2)	20 (7) 18 (1)	17 (7) 16	17 (9) 18 (3)			232 (60)
制御情報システム工学専攻 8名								10 (1)	13 (1)	23 (2)
国際ビジネス学専攻 4名								4 (2)	3 (2)	7 (4)
海事システム工学専攻 4名								4 (2)	4 (1)	8 (3)
合計		126 (64)	130 (52)	149 (65)①	122(56)①	108(45)①	35 (12)	18 (5)	20 (4)	708(303)③

注1 ()内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 ○内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

■出身地別在学生数

[本郷キャンパス]

平成29年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		127 (26)	141 (28)	128 (35)	120 (27)	106 (23)	33 (5)	25 (2)	680(146)
石川県			1	1	1				3
宮城県							1		1
千葉県			1						1
神奈川県				1 (1)		1			2 (1)
新潟県				1					1
長野県				1					1
岐阜県		1	1 (1)	4		1		1	8 (1)
静岡県				1					1
愛知県					1 (1)				1 (1)
滋賀県				1	1 (1)				2 (1)
大阪府			2						2
外国				2	4 (4)	3 (1)			9 (5)
合計		128 (26)	146 (29)	140 (36)	127 (33)	111 (24)	34 (5)	26 (2)	712(155)

()は、女子で内数

[射水キャンパス]

平成29年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		112 (55)	115 (43)	130 (58)	112 (54)	97 (44)	28 (12)	16 (4)	19 (4)	629(274)
石川県		4 (3)	6 (5)	1	3	3	2			19 (8)
北海道				1						1
青森県			1 (1)	2	1 (1)		2			6 (2)
宮城県		1	1							2
山形県		1 (1)		1 (1)	1 (1)	1				4 (3)
福島県		2 (1)	1	1 (1)			1			5 (2)
茨城県				1 (1)						1 (1)
群馬県		1								1
埼玉県				2						2
東京都					1	1				2
神奈川県		1 (1)		1 (1)				1 (1)		3 (3)
新潟県			1 (1)	4 (1)	1	1				7 (2)
長野県				1		1				2
岐阜県		2 (1)	1 (1)	1 (1)	1	2 (1)	1		1	9 (4)
三重県				1						1
滋賀県			1 (1)				1			2 (1)
大阪府			1		1					2
兵庫県			1							1
香川県		1 (1)				1				2 (1)
福岡県		1 (1)								1 (1)
佐賀県				1						1
長崎県			1							1
沖縄県								1		1
外国				1 (1)	1	1				3 (1)
合計		126 (64)	130 (52)	149 (65)	122 (56)	108 (45)	35 (12)	18 (5)	20 (4)	708(303)

()は、女子で内数

14 進路状況

求人倍率も就職率も高いのが、富山高等専門学校の特徴です。産業界に高く評価され、卒業生・修了生は県内外の企業や官公庁で活躍しています。

また、卒業後は4年制大学の3年次（一部2年次）に編入学できます。本校をはじめとする高等専門学校の専攻科（2年制）にも進学できます。これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

〔本郷キャンパス〕

準学士課程（本科）

就職

機械システム工学科（2014年3月卒業までは機械工学科）

朝日印刷㈱	三島M E C㈱	富山化学工業㈱	北陸電力㈱	丸善石油化学㈱	㈱ジェイバック	㈱小松製作所(コマツ)	㈱モビテック
アステラスファーマテック㈱	シーケー金属㈱	日研プラント㈱	北陸発電工事㈱	ANA5iX/メタナステクニクス	㈱タマディック	出光興産㈱	アークレイ㈱
SMK㈱	㈱スギノマシン	㈱日本オープンシステム	山田工業㈱	出光興産㈱	DIC㈱	中菱エンジニアリング㈱	関西電力㈱
㈱柿本商会	ゼオンノース㈱	日本ゼオン㈱	㈱陽進堂	花王㈱	東日本旅客鉄道㈱	東海旅客鉄道㈱	㈱小松製作所(コマツ)
キタムラ機械㈱	大洋エンジニアリング㈱	ファイネクス㈱	㈱リッチェル	K Y B㈱	富士テクノサービス㈱	トヨタ自動車㈱	ダイキン工業㈱
クラシエ製薬㈱	中越合金鋳工㈱	富士安全硝子工業㈱	リードケミカル㈱	川崎重工業㈱	㈱日産テクノ	日本特殊陶業㈱	ダイハツ工業㈱
㈱熊野製作所	中越バルブ工業㈱	㈱不二越	Y K K ㈱	川田工業㈱	日本発条㈱	三菱重工業㈱	パナソニック㈱
国土交通省北陸地方整備局	ティ・エス・ケイ㈱	北陸電気工事㈱	Y K K A P ㈱	独立行政法人国立印刷局	田辺工業㈱	ムラテックC C S ㈱	㈱大塚製薬工場
三協立山㈱	東洋ガスメーター㈱						

電気制御システム工学科（2014年3月卒業までは電気工学科）

朝日印刷㈱	㈱KNB・F	㈱日本空調北陸	一般財団法人北陸電気保安協会	㈱NTTファシリティーズ	メタウォーター㈱	中部国際空港施設サービス㈱	アイフォーコム関西㈱
アステラスファーマテック㈱	㈱電機ビルメンテナンス	日本ゼオン㈱	北陸電力㈱	矢崎総業㈱	中菱エンジニアリング㈱	中部電力㈱	関西電力㈱
㈱NHKメディアテクノロジー	三島M E C ㈱	日本曹達㈱	㈱ミズノマシナリー	㈱タマディック	㈱科学情報システムズ	中菱エンジニアリング㈱	㈱きんでん
北日本電機産業㈱	㈱シキノバイテック	富士化学工業㈱	㈱ユニゾン	東京電力㈱	㈱立野建設/日本特殊陶業	東海旅客鉄道㈱	ダイキン工業㈱
キタムラ機械㈱	J A なのはな	富山市役所	Y K K ㈱黒部事業所	㈱フォーラムエンジニアリング	米沢電気工事㈱	日東電工㈱	日本貨物鉄道㈱
協和マシン㈱	㈱東洋電機製作所	㈱富山村田製作所	田辺工業㈱	富士重工業㈱	セイコーエプソン㈱	日本特殊陶業㈱	㈱日本触媒
クラシエ製薬㈱	日本レトロコネクティブ㈱	北陸電気工事㈱	ANA5iX/メタナステクニクス	㈱明電舎	出光興産㈱	ムラテックC C S ㈱	㈱中央エンジニアリング

物質化学工学科（2014年3月卒業までは物質工学科）

㈱アイザック	㈱黒川製作所	立山製薬工場㈱	日医工㈱	㈱ユニゾン	アステラスファーマテック㈱	㈱ニッポンジー	㈱カネカ
アステラスファーマテック㈱	金剛化学㈱	テイカ製薬㈱	日本環境サービス㈱	㈱陽進堂	出光興産㈱	㈱ロキテクノ	関西電力㈱
㈱ウメケン	三島M E C ㈱	東亜合成㈱	日本ゼオン㈱	燐化学工業㈱	花王㈱	三菱ガス化学㈱	ダイキン工業㈱
㈱大塚製薬工場	十全化学㈱	東亜薬品㈱	日本曹達㈱	Y K K ㈱	サントリービール㈱	ミズノテクニクス㈱	㈱栃木天海堂
㈱開進堂楽器	昭和電工セラミックス㈱	富山化学工業㈱	ファイネクス㈱	住友化学㈱	㈱ツムラ	日清紡メカトロニクス㈱	マルホ㈱
協和ファーマケミカル㈱	第一ファインケミカル㈱	富山スガキ㈱	富士化学工業㈱	丸善石油化学㈱	D I C ㈱	㈱堀場エステック	ユニチカ㈱
クラシエ製薬㈱	立山科学工業㈱						

環境材料工学科（2014年3月卒業まで）

アイティオ㈱	協伸熱処理工業㈱	㈱サンエツ金属	立山電化工業㈱	富山スガキ㈱	明希総合設備㈱	Y K K A P ㈱	サントリープロダクツ㈱
朝日印刷㈱	㈱クワコロボーション	三島M E C ㈱	中越合金鋳工㈱	ファイネクス㈱	㈱陽進堂	エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱	ユニチカ㈱
川田ニット㈱	コマツキャステックス㈱	㈱スギノマシン	富山化学工業㈱	㈱ミズノマシナリー	Y K K ㈱		

進学 大学編入

機械システム工学科（2014年3月卒業までは機械工学科）

国立	筑波大学	横浜国立大学	長岡技術科学大学	金沢大学	豊橋技術科学大学	大阪大学	琉球大学
富山高等専門学校専攻科	宇都宮大学	新潟大学	富山大学	名古屋大学			

電気制御システム工学科（2014年3月卒業までは電気工学科）

国立	東北大学	群馬大学	東京工業大学	長岡技術科学大学	信州大学	名古屋工業大学	大阪大学
富山高等専門学校専攻科	山形大学	千葉大学	電気通信大学	富山大学	名古屋大学	豊橋技術科学大学	九州工業大学
秋田大学	筑波大学	東京大学	新潟大学	金沢大学			
公立	高崎経済大学						

物質化学工学科（2014年3月卒業までは物質工学科）

国立	東北大学	東京工業大学	富山大学	岐阜大学	豊橋技術科学大学	島根大学	徳島大学
富山高等専門学校専攻科	筑波大学	東京農工大学	金沢大学	静岡大学	京都工芸繊維大学	岡山大学	九州大学
北海道大学	千葉大学	新潟大学	福井大学	名古屋大学	大阪大学	広島大学	九州大学
室蘭工業大学	群馬大学	長岡技術科学大学	信州大学	名古屋工業大学			立命館大学
公立	首都大学東京	大阪府立大学	私立	富山ビジネス専門学校			

環境材料工学科（2014年3月卒業まで）

国立	東北大学	東京工業大学	長岡技術科学大学	金沢大学	信州大学	岐阜大学	豊橋技術科学大学
富山高等専門学校専攻科	千葉大学	新潟大学	富山大学				
私立	日本工学院専門学校	大阪航空専門学校					

専攻科

就職

エコデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース

朝日印刷㈱	シロフサイエンス㈱	立山科学グループ	富山地方鉄道㈱	北陸発電工事㈱	㈱宮本工業所	アステラスファーマテック㈱	ユースキン製薬㈱
コーセル㈱	十全化学㈱	田中精密工業㈱	日東ステック㈱	増山電業㈱	㈱ユニゾン	㈱第一テクノ	㈱小松製作所(コマツ)
コマツNTC㈱	㈱スギノマシン	中越合金鋳工㈱	ファイネクス㈱	丸栄運輸機工㈱	Y K K ㈱	㈱日立国際電気	日本車輛製造㈱
三光合成㈱	ゼオンノース㈱	東ソー・セオラム㈱	㈱不二越	㈱ミズノマシナリー	㈱Mテック	J X エンジニアリング㈱	三浦工業㈱
三協立山㈱	ダイト㈱	富山県警察	北陸電気工事㈱				

エコデザイン工学専攻機能材料工学コース

アルルタチバナ㈱	㈱石金精機	㈱桑山	中越合金鋳工㈱	日本総合リサイクル㈱	㈱ミズノマシナリー	日本曹達㈱	ユースキン製薬㈱
㈱アイザック	川端鐵工㈱	ダイト㈱	ティ・エス・ケイ㈱	阪神化成工業㈱	㈱陽進堂	日本海洋掘削㈱	㈱日本触媒
アイシン新和㈱	黒谷㈱	田中精密工業㈱	日医工㈱	富士化学工業㈱			

進学 大学院進学

エコデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース

国立	千葉大学大学院	東京大学大学院	横浜国立大学大学院	富山大学大学院	名古屋工業大学大学院	京都工芸繊維大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学
東北大学大学院	電気通信大学大学院	東京工業大学大学院	長岡技術科学大学大学院	金沢大学大学院	名古屋大学大学院	和歌山大学大学院	神戸大学大学院
茨城大学大学院							
公立	大阪府立大学大学院						

エコデザイン工学専攻機能材料工学コース

国立	福島大学大学院	長岡技術科学大学大学院	金沢大学大学院	北陸先端科学大学院大学	豊橋技術科学大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	九州工業大学大学院
北海道大学大学院	東京工業大学大学院						〔過去5年間の主な実績〕

[射水キャンパス]

準学士課程 (本科)

就職

電子情報工学科 (2014年3月卒業までは情報工学科)							
㈱NTTフィールドテクノ グロフィールド㈱ ㈱高志インテック 三島MEC㈱ ㈱新日軽北陸 J Aなんと セオノノス㈱	東亜合成㈱ 富山県警察 ㈱富山第一銀行 ㈱不二越 ㈱ブルーコムブルー ㈱北経ソフトウェア 北電情報システムサービス㈱	㈱北陸銀行 北経コンピュータ・サービス㈱ 北陸電気工事㈱ 北陸電力㈱ Y K K ㈱ アップフロンティア㈱ ㈱アライズ	㈱アルファシステムズ 出光興産㈱ AIAベースシステムズテクノス㈱ NECネットワークスエスアイ㈱ エヌ・ティ・ティ・コムウェア㈱ ㈱NTTデータ	㈱NTTデータフロンティア ㈱NTTネオメイト ㈱NTTフィールドテクノ ㈱大塚製薬工場 KODIエンジニアリング㈱ ㈱シーイーシー	セイコーエプソン㈱ 中部電力㈱ ㈱DMM.comラボ 東海旅客鉄道㈱ 東洋計器㈱ トヨタテクノデバイス㈱	㈱ドリームアーツ 西日本旅客鉄道㈱ 日揮㈱ 日本テクノストラクチャ㈱ 日本放送協会 (NHK) パナソニックシステムネットワークス㈱	印イ・エヌ・エスソフトウェア㈱ ㈱日立国際電気 ㈱日立ビルシステム 三菱電機ビルテクノサービス㈱ ㈱メイテックフィルダース ㈱バイエルファクトリー

国際ビジネス学科 (2014年3月卒業までは国際流通学科)							
㈱アイザックトランスポート あいの風とやま鉄道㈱ 石友ホーム㈱ 伊勢湾海運㈱ キタムラ機械㈱ 国土交通省 国立大学職員 コマツNTC㈱	コマツキャストックス㈱ ㈱サプラ ㈱シー・イー・ピー (CAP) J A アルプス ジャパンメテック㈱ ㈱新日軽北陸 ㈱タイヨーパッケージ 高岡市役所	タカノギケン㈱ 富山県警察 富山県庁 富山市役所 ㈱富山第一銀行 ㈱富山富士通 ファインネクス㈱ 伏木海陸運送㈱	㈱北陸銀行 北陸電力㈱ 北陸発電工事㈱ ㈱ホテル黒部 ㈱マスオカ Y K K ㈱ Y K K ビジネスサポート㈱ ワイデシシステム㈱	㈱エージーピー 海上保安庁 外務省 ㈱カネシン ㈱グループストーン 経済産業省 厚生労働省 鴻池運輸㈱	国土交通省 財務省 建設省 ㈱ジェイアール東海ホテルズ ㈱エイ・シー・ティン (JAC) 滋谷工業㈱ スタック電子㈱	中部電力 東京地検 東京都 ㈱東洋信号通信社 ㈱ドリコム 内閣府 名古屋高等裁判所	日本通運㈱ 入国管理局 飛騨信用組合 フル・エース・グランドサービス㈱ 法務省 ㈱ホテルオークラ東京ハイ ㈱レイシャス

商船学科 (航海コース・機関コース)							
㈱シノトミコーポレーション 立山酒造㈱ 東洋カスメーター㈱ 富山県水産総合技術センター ㈱フタバリカトヤマ 北陸建工㈱ 北陸発電工事㈱ ㈱まちづくりとやま YKKビジネスサポート㈱	旭運輸㈱ 旭タンカー㈱ ㈱丹セキ北陸 出光興産㈱ インターナルエンジニアリング ㈱ウイングマリタイムサービス ㈱宇徳 宇部興産海運㈱ エスオーシーマリン㈱	NSユニテッド海運㈱ オーシャンランス㈱ ㈱岡本製作所 海上保安庁 加賀建設㈱ 川近シッピングマネジメント㈱ 川崎汽船㈱ 川崎近海汽船㈱ 神原汽船㈱	㈱グローバル・アシスト ㈱グローバル・キャパシティ 佐藤汽船シッピングマネジメント 山丸㈱ ㈱三協 JXオーシャン㈱ 滋谷工業㈱ ジャパンマリユニテッド 商船三井フェリー㈱	㈱商船三井 商船三井客船㈱ 新日本海フェリー㈱ スミセ海運㈱ ㈱タイトーコーポレーション 第一中央マリン㈱ ダイキン工業㈱ 大洋電機㈱ 太洋日本汽船㈱	津軽海峡フェリー㈱ 東海汽船㈱ ㈱東洋信号通信社 東レ㈱ ニッスイマリン工業㈱ 日本栄船㈱ 日本海運㈱ 公益財団法人日本船舶振興センター 日本海洋振興㈱	日本海曳船㈱ 日本海洋事業㈱ 日本コンテナ・ターミナル㈱ 日本通運㈱ 日本郵船㈱ 日本郵船クルーズ㈱ 日本海運㈱ 福寿企業㈱ 福寿船舶㈱	富洋海運 邦洋海運㈱ 北菱電機㈱ ㈱ボルテック 名港海運㈱ ヤマエエネルギーシステム㈱ ㈱ユニエックス Unix Line Pte Ltd

電子制御工学科 (2014年3月卒業までは)							
あいの風とやま鉄道㈱ キタムラ機械㈱ ㈱クレオテクノロジー ㈱サンエツ金属	㈱サンコー シーケー金属㈱ ㈱新日軽北陸 東亜合成㈱	日本エレクコクスサービス㈱ 日本セック㈱ パナソニック㈱デバイス社 ㈱不二越	北陸電力㈱ 北陸発電工事㈱ Y K K ㈱ ㈱Mテック	大阪ガス㈱ ㈱大塚製薬工場 ㈱Dフイルドエンジニアリング 関西電力㈱	KODIエンジニアリング㈱ 三興コントロール㈱ ㈱ジェイエムエンジニアリング 滋谷工業㈱	東海旅客鉄道㈱ 東芝エレベータ㈱ 名古屋電機工業㈱ パナソニックシステムネットワークス㈱	㈱日立ビルシステム 三菱電機ビルテクノサービス㈱ 山崎製パン㈱

進学 大学編入

電子情報工学科 (2014年3月卒業までは情報工学科)						
国立 長岡技術科学大学 京都工芸繊維大学 公立 首都大学東京	富山高専専門学校専攻科 信州大学 広島大学 上智大学 インターナショナル・メディア学院	筑波大学 富山大学 独立行政法人国立病院機構	宇都宮大学 金沢大学	千葉大学 岐阜大学	お茶の水女子大学 名古屋大学	電気通信大学 豊橋技術科学大学 新潟大学 滋賀大学

国際ビジネス学科 (2014年3月卒業までは国際流通学科)						
国立 富山大学 神戸大学 私立 富山市立看護専門学校	富山高専専門学校専攻科 信州大学 広島大学 上智大学 インターナショナル・メディア学院	北海道大学 信州大学 九州大学 帝京大学 海外留学	筑波大学 名古屋大学 公立 専修大学 東北財経大学	埼玉大学 三重大学 大阪市立大学 金沢星稜大学 オタワ大学	お茶の水女子大学 滋賀大学 富山県立保育専門学校 関西大学	東京外国語大学 奈良女子大学 富山県立総合衛生学院 関西外国語大学 厚生連高岡看護専門学校

商船学科 (航海コース・機関コース)						
国立 鹿屋体育大学 公立 富山高専専門学校専攻科	秋田大学 富山県立総合衛生学院	東京海洋大学	長岡技術科学大学	富山大学	豊橋技術科学大学	神戸大学

電子制御工学科 (2014年3月卒業までは)						
国立 京都工芸繊維大学 公立 富山高専専門学校専攻科	岩手大学 新潟工科大学	長岡技術科学大学 富山大学	金沢大学	信州大学	豊橋技術科学大学	富山大学

専攻科

就職

制御情報システム工学専攻							
㈱インテック ㈱力シイ ㈱東電エレクトロニクス 三協立山㈱	㈱ソフト 立山科学グループ 富山トヨタ自動車㈱ 日本ソフテック㈱	㈱不二越情報システム 北経コンピュータグラフィックス 北陸通信工業㈱ 北陸電機製造㈱	旭化成㈱ ㈱NTTフィールドテクノ ㈱NTTホームテクノ 大塚製薬㈱	㈱OPT i M ㈱ジェスクホリウチ セイコーエプソン㈱	㈱ドリームアーツ マフチモーター㈱ ㈱日立国際電気	㈱日立製作所 ㈱PFU 富士ソフト㈱	富士通㈱ 三菱電機㈱ 美和ロック㈱

国際ビジネス専攻							
朝日印刷㈱ ㈱ソフト 立山科学グループ	㈱富山第一銀行 豊産業グループ 日清工業㈱	㈱日本オープンシステムズ ㈱不二越 ㈱不二越情報システム	北経コンピュータグラフィックス ㈱北陸電機商会 北陸発電工事㈱	㈱前田商會不動産サービス 丸米運輸機工㈱ Y K K ㈱	SMK㈱ ㈱SEALS 信越化学工業㈱	チカ・インターナショナル・フーズ㈱ ㈱P F U ㈱ビラミッドフィルム	㈱バイオシステム ㈱マイナビ リゾートトラスト㈱

海事システム工学専攻						
飯野海運㈱ エスオーシーマリン㈱	国土交通省 三徳船舶㈱	寺崎電気産業㈱ ㈱東洋信号通信社	日本海洋振興㈱	日本海洋事業㈱	日本通運㈱	ヤマエエネルギーシステム㈱ ㈱エー・シー・ティン (JAC)

進学 大学院進学

制御情報システム工学専攻						
国立 公立 東北大学大学院 大阪府立大学大学院	東京工業大学	長岡技術科学大学大学院	北陸先端科学大学院大学	豊橋技術科学大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学	富山大学

[過去5年間の主な実績]

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス／富山駅南口バスターミナル5番乗り場から「国立高専（朝菜町経由・下堀経由）」行きに乗車～約30分～国立高専前【終点】下車、徒歩0分
- 電車／電鉄富山駅からの場合
「岩峯寺」行きに乗車～約14分～小杉駅下車、徒歩15分
岩峯寺駅からの場合
「電鉄富山」行きに乗車～約15分～布市駅下車、徒歩15分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス／富山駅南口バスターミナル3番乗り場から「新港東口」行きに乗車～約30分～「練合」下車、徒歩2分
- 通学バス／東富山駅、富山駅、呉羽駅、小杉駅、高岡駅や新湊方面から通学バス(有料)を朝夕に運行
- コミュニティバス／射水市のコミュニティバスも利用可

<http://www.nc-toyama.ac.jp>